

商 工 労 政 課

○新型コロナウイルス対策関係

1 伊勢のお店応援商品券事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者を支援するため、プレミアム付き商品券の発行等を行う伊勢商工会議所に対し、補助金を交付した。なお、今回はコロナ禍にあることから、接触機会の低減を図るべく商品券の一部を電子化した。

(1) 補助金額

交付先	補助金額	備考
伊勢商工会議所	298,020,000 円	プレミアム相当分 230,793,053 円 事務費 67,226,947 円

(2) 商品券の概要

券種		電子商品券	紙商品券
発行数		90,000 口	65,000 冊
額面		6,500 円分 (共通券 2,000 円分、 中小規模店専用券 4,500 円分)	6,500 円分 (共通券 1,000 円券×2 枚、 中小規模店専用券 500 円券×9 枚)
販売額		5,000 円	5,000 円
1 次 販売	予約申込期間	4. 7. 11 ~4. 8. 10	4. 7. 11 ~4. 8. 10
	販売期間	4. 9. 2 ~4. 10. 11	4. 9. 12 ~4. 10. 11
2 次 販売	販売期間	4. 11. 1 ~4. 11. 4 (先着販売)	販売なし
利用期間		4. 9. 12 ~5. 1. 31	4. 9. 12 ~5. 1. 31
利用方法 (支払単位)		スマートフォンでお店に置いて ある QR コードを読み取る (1 円単位)	紙の商品券を利用 (1,000 円または 500 円単位)
利用可能店舗		伊勢市内の小売業・飲食業・サービス業などの登録店舗 1,149 店舗	

(3) 販売結果

種類	発行総額	販売券面総額 (A)	換金総額 (B)	換金率 (B/A)
電子商品券	円 585,000,000 (135,000,000)	円 583,836,500 (134,731,500)	円 582,728,231 (134,475,745)	% 99.8
紙商品券	円 422,500,000 (97,500,000)	円 418,990,000 (96,690,000)	円 417,375,000 (96,317,308)	99.6
計	円 1,007,500,000 (232,500,000)	円 1,002,826,500 (231,421,500)	円 1,000,103,231 (230,793,053)	99.7

※ () はそれぞれの額のプレミアム相当分

2 伊勢市版地域経済復活支援金

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、令和4年1月から3月のいずれかの月の売上が前年、前々年又は前々前年の同月と比較して30%以上減少し、三重県地域経済復活支援金を受給した事業者の事業継続を支援するため、法人20万円、個人事業主10万円の上限を設け、県支援金と同額を交付した。

(1) 交付実績

交付件数	交付金額	備考
1,957件	273,941,057円	法人849件(167,376,524円) 個人事業主1,108件(106,564,533円)

3 EC販路開拓支援事業

(1) ECサイト開設・出店・改修補助金

伊勢市内の商業等の振興を促進し、地域経済の活性化を図るため、消費者向けのEC（オンラインショッピング）サイトの開設・改修またはモール型ECサイトへの出店を行う市内中小企業者に対して、事業費の一部を補助した。

区分	補助件数	補助金額	備考
開設	件 33	円 6,308,000	法人18件(3,466,000円) 個人事業主15件(2,842,000円)
改修	20	3,799,000	法人15件(2,799,000円) 個人事業主5件(1,000,000円)
モール出店	4	800,000	法人3件(600,000円) 個人事業主1件(200,000円)
計	57	10,907,000	

(2) ECポータルサイト開設、(公社)伊勢市観光協会公式ショッピングサイト改修

市内中小企業者がインターネット上で消費者向けの商品販売を開始あるいは拡大するのを支援するための基盤として、市内中小企業者による物販系ECサイトを網羅的に集めて紹介するECポータルサイト「ISE ONE（イセ・ワン）」を、(公社)伊勢市観光協会との協働事業として新規に開設した。同サイトは令和5年3月10日に公開し、公開時の掲載事業者数は116事業者となった。公開以降も事業者の掲載を随時追加している。

また、主に自力ではECサイトを運営できない市内中小企業者の商品販売先として令和2年5月に開設された(公社)伊勢市観光協会の公式ショッピングサイトについて、ユーザーにとっての使い勝手を高めるための改修を、(公社)伊勢市観光協会との協働事業として行った。

ア 業務請負者

- ・ ECポータルサイト開設：(株)日本デザインセンター
- ・ (公社)伊勢市観光協会公式ショッピングサイト改修：伊勢マルシェ

イ (公社)伊勢市観光協会への負担金額 14,531,312円(内訳は以下のとおり)

- ・ ECポータルサイト開設：12,525,700円

- ・（公社）伊勢市観光協会公式ショッピングサイト改修：500,000 円
- ・ECポータルサイト広報物作成：158,400 円
- ・ECポータルサイト掲載事業者への郵便料：26,184 円
- ・事務手数料（事業費の10%）：1,321,028 円

4 中小企業信用保険法の規定による中小企業者の認定

中小企業者が三重県信用保証協会の信用保証を受けられる融資金額は、中小企業信用保険法によりその上限が定められているが、営業不振や自然災害の発生など緊急の事由により資金需要が発生した際、認定要件に該当する場合に、一般の保証枠とは別枠の信用保証を受けることができる。

別枠の信用保証により、新たな融資が受けられるように、中小企業信用保険法第2条第5項に基づく認定を行った。

認 定 要 件	認定件数
第5項第4号：突発的災害（自然災害等）	152 (628) 件
第5項第5号：業況の悪化している業種（全国的）	27 (235)
計	179 (863)

※（ ）は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に起因する令和元年度以降の認定総数

○原油価格・物価高騰等緊急対策事業

1 中小企業者物価高騰支援金

新型コロナウイルス感染症の影響長期化に加え物価の高騰が続く中、中小企業者の負担軽減並びに事業継続を支援するため、法人20万円、個人事業主5万円を上限に支援金を交付した。

本事業の実施にあたっては、申請の受付及び審査、交付決定通知の発送などの業務を伊勢商工会議所へ委託した。

（1）交付実績

交付件数	交付金額	備考
5,132 件	364,220,000 円	法人 1,930 件（204,120,000 円） 個人事業主 3,202 件（160,100,000 円）

（2）伊勢市中小企業者物価高騰支援金事業業務委託

- ア 委託先 伊勢商工会議所
- イ 委託料 10,546,335 円
- ウ 履行期間 令和4年10月17日～令和5年2月28日

○商工関係

1 商店街等振興対策事業

交通環境の変化や大型店の郊外への出店などを要因として、中心市街地商店街等の集客力・求心力が弱体化している。このため、地域のコミュニティ機能の担い手としての役割が期待されている商店街等を含む中心市街地の活性化を図るため、伊勢まちづくり株式会社が実施する取り組みに対して、負担金を支出した。

(1) 商店街等空店舗対策事業

中心市街地商店街等の集客力の向上及び機能回復の促進を目的として、中心市街地商店街等の空店舗の解消を図るため、空店舗対策を実施する商店街等に対し、伊勢まちづくり株式会社が行う補助事業に負担金を支出した。

また、店舗兼居宅で出入口が同じなどの事由により貸し出しができない空店舗の解消を図るため、その空店舗の所有者に対して、内装工事費を助成する制度の検討を行った。

ア 伊勢まちづくり株式会社が実施した「商店街等空店舗対策事業」の実績

	実施主体（商店街等）	対象店舗の名称	対象店舗の業種	補助金額
継続	伊勢高柳商店街振興組合	'NL' SPACE Gym&Cafe	フィットネスクラブ	円 75,000
	伊勢銀座新道商店街振興組合	CIEL	美容業	240,000
	伊勢河崎本通り活性化会議	cuelli	小売業	337,500
新規	伊勢銀座新道商店街振興組合	とり乃家本店	飲食店	600,000
	外宮参道発展会	兼言	飲食店	1,240,000
	伊勢高柳商店街振興組合	北海道屋台村	飲食店	1,420,000
計 (6件)				3,912,500

(2) 商店街等活性化対策事業

商店街等の発展及び活性化を図るため、消費者に魅力ある商店街づくりや賑わいの創出を行う商店街等に対し、伊勢まちづくり株式会社が行う補助事業に負担金を支出した。

ア 伊勢まちづくり株式会社が実施した「商業まちづくり補助金事業」の実績

	実施主体（商店街等）	事業名	補助金額
継続	伊勢銀座新道商店街振興組合	山商×しんみちフェスタ×しんみちイルミネーションプロムナード	円 150,000
	外宮参道発展会	外宮さんちびっこ博士グランプリ及び、竹あかりの献灯	130,926
新規	伊勢市駅前商店街振興組合	伊勢市駅前商店街イベント	98,000
計 (3件)			378,926

(3) 商店街等PR支援事業

商店街等の活性化や認知度向上を図るため、伊勢まちづくり株式会社が行う商店街等のイベント情報の発信に対して、負担金を支出した。

実施主体	内容	回数	負担金額
伊勢まちづくり株式会社	商店街のイベント情報のデジタル媒体での発信	7回	134,608円

(4) 商店街等通行量調査実証実験事業

商店街等の回遊性の実態や賑わい創出の効果等、各商店街等における来街者の動向を把握し、今後の商店街等の活性化に対する指標とするため、定点A Iカメラ等の機器を用いて年間を通じた調査を行う伊勢まちづくり株式会社に対して、負担金を支出した。

実施主体	事業名	負担金額
伊勢まちづくり株式会社	商店街等歩行者通行量調査システム運用保守管理業務委託	4,594,502円

2 商業活性化推進事業

(1) 商業魅力アップ支援事業補助金

伊勢市内の商業振興を図るため、地域住民及び観光客のニーズに応えた商業環境の整備やにぎわいの創出に新たにに取り組む商業団体等に対して、事業費の一部を補助した。

交付先	事業名	補助金額
伊勢河崎本通り活性化会議	伊勢河崎地区の「新ものがたり」を紡ぐ地域資源磨き上げ事業～まちの魅力を醸成する「ものがたり」を創り、育てる～	400,000円
伊勢高柳商店街振興組合	北海道物産展事業	1,000,000
伊勢小俣町商工会	“おばた町の魅力再発見”地域住民や観光客への情報発信事業	482,000
伊勢明倫商店街協同組合	伊勢明倫商店街中央トイレ近代化及び段差改修事業	828,000
計 (4件)		2,710,000

(2) 地域おこし協力隊事業

中心市街地における居住人口の減少、商店街等の賑わいの創出や回遊性の促進などの課題の解決、また、地域資源の利活用に向けて、地域外の人材を誘致し地域活動に従事してもらうことで地域力の維持・強化に取り組み、地域の活性化を図るため、令和3年度中に選考のうえ委嘱した中心市街地活性化部門1名、観光魅力創出部門2名の計3名に対し、引き続き地域おこし協力隊員を委嘱し、委託契約に基づき地域活動に従事してもらった。

このうち、中心市街地活性化部門1名と、観光魅力創出部門のうち1名については、令和4年度内に自己都合により退任した。観光魅力創出部門の1名は継続し、市と協働協定を締結している神楽サロン有限会社の社員として、地域資源の発掘や、これを生かした高付加価値な観光誘客に取り組んだ。

3 地域産品販売促進事業

伊勢市産業振興会や公益社団法人伊勢市観光協会等の関係団体及び独立行政法人日本貿易振興機構と連携し、伊勢の食材や特産品などの認知度向上及び販路拡大を図るとともに、中小企業者が出展する商談会等の出展料の一部を補助した。

(1) 物産展等

伊勢市産業振興会や公益財団法人伊勢市観光協会等の関係団体と連携し、首都圏及び市内において、伊勢の地域産品を全国に発信し、地域産品の認知度の向上及び販路拡大並びにコ

コロナ収束後の誘客に繋げるため、物産展や特産品のPRを行った。

令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、現地スタッフによる物産展の運営を行ってきたが、感染症が落ち着く中、令和4年度においては開催期間中に職員が現地に赴き実施した。

また、3年振りに開催した「野口みずき杯 2022 中日三重お伊勢さんマラソン」伊勢志摩物産展では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、お土産のみの販売に限定して実施した。

ア 物産展等の状況

開催日	内 容	場 所
4. 10. 22～4. 10. 30	期間限定店舗「I S E S H O P」	たまプラーザテラス（神奈川県横浜市）
4. 10. 29	伝統工芸品PRイベント「ええなあ伊勢のもん Vol. 7」	三重テラス（東京都中央区）
4. 12. 3～4. 12. 4	「野口みずき杯 2022 中日三重お伊勢さんマラソン」伊勢志摩物産展	三重県営サンアリーナ周辺フットボールヴィレッジ駐車場等（三重県伊勢市）

イ 期間限定店舗「I S E S H O P」実績

出品	売上（税抜き）	1日平均売上	売上品数	客数
40 業者 94 品目	円 2,751,631	円 305,736	点 3,850	人 1,472

(2) 伊勢市商談会等出展支援事業補助金

市内の中小企業者及び中小企業団体等の販路拡大及び新規需要開拓を促進するため、国内外における商談会や見本市及びオンライン商談会等に出展する中小企業者及び中小企業団体等に対し、補助金を交付した。

なお、令和3年度からオンライン商談会等へ出展する際の参加費及び企業情報等の登録料も対象とし、補助対象経費の拡大を図ったが、対面での商談を希望し、オンライン商談会等への出展の実績はなかった。

区 分	補助件数	補助金額
商談会	12 件	1,450,000 円

(3) 独立行政法人日本貿易振興機構との連携

市内の中小企業者の海外における新規需要開拓や販路拡大の促進を図るため、独立行政法人日本貿易振興機構三重貿易情報センターによる貿易相談等への対応及び海外ビジネス支援を実施し、また、貿易実務等に関するセミナーを共催で開催した。

ア 相談・支援の状況

内 容	件 数
貿易・投資等相談	50 件
海外ビジネス支援	1 件

イ セミナーの状況

開催日	内 容	参加人数	場 所
5. 3. 13	海外展開セミナーin 伊勢 「貿易実務（基礎）と最近の貿易相談 のトピックについて」	19人	伊勢シティホテル

4 経営改善普及事業

伊勢商工会議所中小企業相談所及び伊勢小俣町商工会が実施する中小企業者の経営改善及び経営基盤の強化に向けた取り組みを支援するため、経営指導等に要する経費に対し、補助金を交付した。

また、中小企業者への相談対応や経営指導の充実化、中小企業者が抱えている課題の解決を図るため、伊勢商工会議所中小企業相談所及び伊勢小俣町商工会が行う専門家派遣に係る経費に対し、補助金を交付した。

(1) 経営改善普及事業補助金

交付先	事 業 内 容	補助金額
伊勢商工会議所 伊勢中小企業相談所	中小企業者に対する ・講習会、セミナーの開催 ・融資相談、経営指導、税務相談など	円 10,000,000
伊勢小俣町商工会	中小企業者に対する ・経営指導や記帳継続指導など ・講習会、個別相談会の開催など	7,720,000
計	(2件)	17,720,000

(2) 専門家派遣事業補助金

交付先	事 業 内 容	補助金額
伊勢商工会議所 伊勢中小企業相談所	中小企業者への相談対応や経営指導の充実化を図るため、中小企業者が抱えている課題に対して専門的・実践的な指導、助言を行う専門家を派遣する。	円 428,000
伊勢小俣町商工会		443,000
計	(2件)	871,000

5 小規模事業資金保証料補給補助金

伊勢商工会議所または平成19年以降に伊勢小俣町商工会の斡旋により、三重県信用保証協会の保証を得て、小規模事業資金又は小規模借換資金の融資を平成29年3月31日までに受けた事業者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補助を行い、小規模事業者の経営合理化を促進した。

件 数	補助金額	取扱金融機関名
3件	14,575円	百五銀行、三十三銀行

6 経営力向上支援事業

中小企業者の持続的発展を促し地域経済の活性化を図るため、三重県融資制度及び日本政策金融公庫融資制度のうち対象となる融資を受けた場合に、その融資に係る利子の一部を補助した。

また、中小企業者の挑戦の後押し、意欲の向上を図るため、伊勢商工会議所及び伊勢小俣町商工会が行う中小企業者の経営課題の解決に向けた取り組みを支援する事業に対し、補助金を交付した。

(1) 経営力向上支援事業利子補給補助金

平成 29 年 4 月 1 日以降に三重県中小企業融資制度の小規模事業資金及びみえ経営向上支援資金、日本政策金融公庫国民生活事業の小規模事業者経営改善資金、小規模事業者経営発達支援資金、中小企業経営力強化資金、生活衛生関係営業経営改善資金及び企業再建資金の融資を受けた場合に、その融資に係る利子の一部を補助した。

融 資 名	補助件数	補助金額
小規模事業資金	件 34	円 733,007
小規模事業者経営改善資金	81	3,163,441
生活衛生関係営業経営改善資金	15	300,230
企業再建資金	4	218,974
計	134	4,415,652

(2) 三重県版経営向上計画実施支援補助金

三重県版経営向上計画のうちステップ 2（経営課題の解決に向け具体的に取り組もうとする計画）又はステップ 3（経営課題に対する解決策を本格的に実行しようとする計画）の認定を受けた事業所が、認定された計画に基づき実施する経営課題の解決に向け行う取り組みに係る経費の一部を補助した。なお、中小企業者への補助は伊勢商工会議所及び伊勢小俣町商工会が行い、市は伊勢商工会議所及び伊勢小俣町商工会に対し、補助金を交付した。

交付先	補助金額	事業者数
伊勢商工会議所	円 1,958,000	社 12
伊勢小俣町商工会	1,598,000	9
計	3,556,000	21

7 創業支援事業

創業や第二創業、事業所の移転を促進することで雇用の創出及び移住・定住の促進を図るため、新たに市内に事業所を設置し創業・移転を行う者に対し、創業等に必要となる経費の一部の補助、また、創業関連融資制度のうち対象となる融資を受けた場合にその融資に係る利子の一部の補助や信用保証協会の保証料の補助を行った。

また、関係各課及び関係団体と連携し、創業支援策の P R を通じて U I J ターン希望者の移住促進に取り組んだ。

(1) 創業・移転促進補助金

創業や事業所移転による産業の振興、移住・定住の促進を図るために、市内で創業を行う者、市内で第二創業を行う者、市外から新たに伊勢市に事業所（本店）を移転しようとする者の創業・移転に係る経費の一部を補助し、補助を受けた 26 社が年度内に創業や事業所移転

を行った。

なお、令和4年度に事業着手したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響や審査時期の都合で年度内に事業完了しなかった11件については、次年度へ繰り越した。

区分	補助件数	補助金額	備 考
令和3年度申請・ 令和4年度交付決定	件 10	円 (注) 6,671,000	市内創業9社、移住創業1社
令和4年度申請	16	12,352,000	市内創業11社、移住創業4社 事業所移転1社
賃料分2年目 (前年度創業者)	4	767,000	賃料分が2か年度にわたる前年度 創業者の賃料分のみ
以上計	30	19,790,000	
次年度へ繰越	11	6,646,000	補助金額は交付決定額

(注) 繰越明許費(5,377,000円)を含む。

(2) 創業・再挑戦アシスト資金保証料補給補助金

創業者のリスク軽減を図り創業しやすい環境を整えることを目的に、三重県の融資制度である創業・再挑戦アシスト資金の融資を平成25年4月1日から平成29年3月31日までに受けた事業者(貸付実行時に市内に主たる事業所がある、又は設置しようとする事業者)に対して、保証料の補給補助を行った。

補助件数	補助金額
17件	442,273円

(3) 創業・再挑戦アシスト資金利子補給補助金

創業者のリスク軽減を図り創業しやすい環境を整えることを目的に、三重県の融資制度である創業・再挑戦アシスト資金の融資を平成29年4月1日以降に受けた事業者(申請時に市内に主たる事業所がある、又は設置しようとする事業者)に対して、その融資に係る利子の一部を補給補助した。

補助件数	補助金額
55件	2,839,361円

8 住宅・店舗リフォーム等促進事業補助金

市内住宅関連産業の振興を促進し、地域経済の活性化を図るため、市民や事業者のリフォーム又は増改築、店舗の新築工事の意欲を促すべく、市内住宅関連産業による住宅や店舗のリフォーム又は増改築、店舗の新築工事を行う者に対し、補助金を交付した。

区 分	補助件数	補助金額
店 舗	件 13	円 2,038,000
住宅・店舗 併 用	13	1,404,000
住 宅	255	23,319,000
計	281	26,761,000

9 ものづくり推進事業

(1) 新産業創出支援事業補助金

新たな製品開発や新産業の創出に取り組む中小製造業者又はその団体の育成を図るため、中小製造業者等が行う新製品・新技術の研究開発に対し、大学教授をはじめとする学識経験者等で構成する審査委員会において審査を実施し、補助金交付を決定した。

なお、研究開発を進める中で、事業計画の変更が生じ年度内に事業が完了しなかったため、次年度へ繰り越した。

交付予定先	事業内容	交付決定額
株式会社A-LINE	「えびやのビスク」の研究開発	2,000,000円

(2) 伝統工芸品等再生支援事業補助金

伝統工芸品産業の振興を図るため、製造業者等が行う後継者育成等の伝統工芸品産業の再生及び発展につながる事業に要する経費に対し、補助金を交付した。

交付先	事業内容	補助金額
一般財団法人伊勢伝統工芸保存協会	伊勢伝統工芸パンフレット作成事業	円 205,000
株式会社宮忠	Tokowaka Meeting from Ise 事業	300,000
計 (2件)		505,000

(3) 株式会社三重ティーエルオーへの加入及び関係機関との連携

中小企業者と大学との交流支援に取り組み、かつ、県内の大学等の研究成果や新技術を産業界に移転する活動を積極的に推進するなど、産学官連携の拠点と位置づけられている株式会社三重ティーエルオーに継続加入し、市内中小企業者が学術機関への技術相談や大学等の技術やノウハウの収集などが容易にできる環境を整えた。

10 産業支援センター管理運営事業

(1) 伊勢市産業支援センター

平成24年度から、専門性を向上させ効率的・効果的に業務を進めるため指定管理者制度を導入している。指定管理者は、施設の管理運営と企業訪問による課題の聴き取り及び解決、起業家の育成、各種講習会の開催などに取り組んだ。

また、伊勢市産業支援センターは開設以来14年が経過し、ものづくり支援の一環である機械設備の老朽化や施設利用者が減少といった課題があったため、当該施設の廃止を含めた今後の産業支援の方向性を伊勢商工会議所及び伊勢小俣町商工会等の関係機関と協議、検討を行った。

- ・指定管理者 伊勢商工会議所 会頭 山野 稔
- ・指定管理期間 令和4年4月1日～令和6年3月31日（2年間）
- ・指定管理料 総額88,675,400円（令和4年度44,337,700円）

ア 起業支援

(ア) 創業支援員の配置

新しい事業の実現のため、起業家とともに課題を分析し、解決のための手法の提案や、経営・財務などの専門家との連携など、起業家の事業活動を総合的にサポートする創業支援員を常勤で配置した。

外部相談件数	350 件
内部相談件数	66 件

- ・起業・創業セミナー&交流会

実施回数：10 回、延べ参加者数：132 人

- ・女性起業セミナー&座談会

実施回数：3 回、参加者数：35 人

(イ) 起業家支援室の提供

利用者名	利用期間	事業内容
(同) メグリア	4. 4~5. 3	職業紹介事業、人材コンサルティング事業

(ウ) 起業準備支援室の提供

利用者名	利用期間	事業内容
松岡 直希	4. 8~5. 3	マラソン大会、ランニングイベント等の企画、運営等
森島 大吾	4. 5~5. 3	高齢者福祉施設向けのセミナー事業、コミュニティ運営事業
(一社) mirai	4. 2~5. 2	林業及び木材その他農林水産物の販売業、キャンプ場の運営等
山本 雅彦	4. 4~4. 9	デザイン事業の構築

イ 経営支援（企業力の強化）

(ア) 企業支援員及び職員による企業訪問

市内の製造業を中心とした中小企業者の活性化を図るため、各製造業者の課題を把握しその解決に向け、関連支援機関等への橋渡しや各種支援策の紹介を行い、中小企業者の円滑な事業活動を支援する「企業支援員」2名を配置した。

訪問件数	延べ 1,145 件（281 社）
課題数	48 件
課題解決件数	44 件（他、解決不能 2 件、継続 2 件）

(イ) 専門家派遣支援事業

中小企業者の相談対応に伴い、課題等の解決のため専門家派遣の取次ぎを行った。

取次件数：2 件

(ウ) 経営支援に関するセミナーの開催

技術力向上や情報化推進等を目的に時流や企業ニーズに合ったセミナー・講習会を開催した。

実施回数：8回、参加者数：157人

(エ) 食の開発支援

- ・蕎麦打ち講座

実施回数：10回、参加者数：46人

- ・食の開発スペースの貸出

貸出件数：10件

(オ) 施設の有効活用による支援

開放試験室や材料試験室に設置の各種試験機器の有効活用により、中小企業者及び起業家等の円滑な事業活動の支援を行った。

使用件数：41件

ウ 人材育成支援（企業力の強化）

(ア) リーダーシップ講座等の開催

地域製造業者の管理者育成等を目的としたセミナーを関係団体と連携して開催した。

実施回数：3回、参加者数：38人

エ 地域伝統工芸の振興支援

(ア) 地域伝統技術講習会・講座等の開催

技術習得だけに終始せず起業スキルを身に付けることを目的として、伊勢硝子などの工芸講座を作業実習室を活用し開催した。

講座・セミナー名	回数	延べ参加者数
ジュエリー講座	6回	35人
ガラス細工講座	6	34
水引細工講座	12	68

(イ) 伝統工芸品 PR 事業

展示会開催への備品貸出しを行ったほか、伊勢市産業支援センターへ伝統工芸品パネルを掲示した。

オ 雇用・就労支援

市内中小企業者の人材確保の足がかりとして、大学生及び高校生並びに教職員を対象に市内中小企業者の見学会等を開催し、将来の雇用につながるよう努めた。

- ・三重大学工学部の学生及び教職員を対象とした製造企業視察（オンライン）

実施回数：5回、参加者数：902人

- ・宇治山田商業高等学校の生徒及び教職員を対象とした企業説明会

実施回数：1回、参加者数：165人

カ 他機関の技術開発支援事業補助金等獲得支援

市内中小企業者に対して、「伊勢市創業・移転促進補助金」、「事業再構築補助金」などの申請に関して支援を行った。

支援事業者数：47社

(2) 伊勢市産業支援センター運営協議会の開催

伊勢市産業支援センターの円滑かつ適正な運営を図るため、市内中小企業者や関係団体などで構成する運営協議会を開催し、指定管理者による運営についての意見聴取を行い、市内中小企業者の意見等を可能な限り施策に反映させた。また、同センター及び伊勢市の今後の産業支援のあり方の協議も行った。

第1回運営協議会：令和4年8月5日

第2回運営協議会：令和5年2月17日

11 消費生活関連事業

(1) 消費生活相談業務

伊勢市消費生活センターにおいて、架空請求や悪質商法など、消費生活に関するトラブルに対し、専門相談員による相談を行った。電話、窓口またはメール（伊勢市ホームページ問い合わせフォーム）にて相談者への助言や、相談内容によっては、事業者への確認や交渉の手助けなどを行い、消費者問題の早期解決に努めた。

また、令和4年4月1日から伊勢市消費生活センターを連携市町とともに広域化し、圏域住民からの消費生活相談の対応や消費生活に係る情報発信を行うことで、圏域住民が安全・安心な消費生活をおくれるように取り組んだ。

連携市町：鳥羽市、志摩市、玉城町、大紀町、南伊勢町

消費生活相談件数	1,279件 うち伊勢市 892件
----------	----------------------

(2) 啓発活動

消費者被害を未然に防ぐため、関係機関等と連携を取りながら、高齢者クラブを中心に出前講座を実施した。出前講座では、伊勢市消費生活センターの紹介や、被害にあわないために気をつけることなど、これまでの事例紹介や啓発DVDなどを使ってわかりやすく講座を行った。

若年者に対しては、令和5年1月開催の成人式において新成人に啓発用パンフレットを配付するとともに、成年年齢引き下げに伴う啓発のため、市内高等学校2年生を対象に各校を通じ啓発チラシを配付した。

また、市役所や図書館など市内の公共施設における展示啓発に加え、市ホームページに相談事例や啓発情報を88回掲載したほか、「広報いせ」で7回、伊勢市公式LINEで24回消費生活情報を発信した。

内 容	対 象	件数
出前講座等	高齢者クラブほか	件 9
高齢者向け啓発チラシ配布	地域包括支援センターほか	1
若年者向け啓発チラシ配布	新成人、市内高等学校生徒	2
展示啓発	公共施設利用者	2

(3) 多重債務対策

多重債務に陥っている人が誰にも相談できず、解決の糸口さえ見つからないということがないように、伊勢市消費生活センターにて相談を受け付け、債務状況・家族構成等の基本的な事項を聴き取ったうえで、認定司法書士や弁護士事務所への紹介・相談予約を行った。多重債務者を確実に法律専門家へ繋げることで、多重債務問題の解決に努めた。

また、三重県司法書士会伊勢支部の協力を得て、毎月第3木曜日に無料多重債務相談会を開催した。

無料多重債務相談会受付件数	18 件
---------------	------

○労政関係

1 雇用対策事業

(1) 若年求職者等支援事業

若年者の中には、離職を繰り返す方、働く意欲はあるものの就職に至らない方、働く意欲が低下するなど社会生活そのものが困難な方など、職業的な自立が困難な方が多数存在しており、その要因は多岐に及ぶ。国が設置する「いせ若者就業サポートステーション」と連携し、個別の事情に応じた就労支援を実施した。

ア 伊勢市若者就職総合支援業務委託

- ・実施期間 令和4年4月21日～令和5年3月31日
- ・委託先 特定非営利活動法人いせコンビニネット
- ・委託料 4,224,728円
- ・実績
 - ・臨床心理士による心理カウンセリング
実施回数：12回、利用者数：延べ33人
 - ・適職診断等を用いた若者キャリア開発プログラム
実施回数：30回、利用者数：延べ66人
 - ・セミナー・講座
実施回数：49回、利用者数：延べ170人
 - ・ボランティア体験
実施回数：23回、利用者数：延べ41人
 - ・就労体験
実施回数：111回、利用者数：延べ247人
 - ・市内事業所見学会
実施回数：11回、利用者数：延べ25人
 - ・若者の就職支援を目的とした講演会の開催
実施日：令和5年1月27日
場 所：いせ市民活動センター

参加者：35人（対面：30人 オンライン：5人）

(2) 雇用就労支援事業

ア 障がい者雇用促進の取組

伊勢公共職業安定所と連携し、障がい者雇用の促進を目的としたセミナーを開催した。

- ・実施日 令和5年3月17日
- ・場 所 伊勢市労働福祉会館
- ・参加者数 24人

イ 女性のための就職支援セミナーの開催

女性の就職・再就職支援を目的に、女性の就職支援セミナーを開催した。

※対面参加とオンライン参加のハイブリッド形式で開催

- ・実施日 令和4年11月22日
- ・場 所 伊勢市ハートプラザみその
- ・参加者数 16人（対面：12人 オンライン：4人）

ウ 南三重地域就労対策協議会

若者の地元就職・定着を目的に設立した南三重地域16市町で構成する南三重地域就労対策協議会（会長：松阪市長）に負担金を支出した。

- ・負担金額 399,648円
- ・主な取組 就職マッチング支援サイトの運用
掲載事業所数 224社（令和5年3月31日時点）
登録求職者数 119人（令和5年3月31日時点）
南三重地域企業紹介動画の作成・配信
求職者対象のインターンシップセミナーの開催
事業者対象の採用支援セミナーの開催

エ インターンシップ促進の取組

インターンシップの促進を図るため、大学生等と地域企業のマッチングを支援した。

- ・実施期間 令和4年5月25日～令和5年2月28日
- ・主な取組 受入企業の開拓、学校への広報、特設サイトの構築
サイト掲載数 24社 エントリー人数 17人
実施企業数 10社 参加学生数 延べ16人

オ インターンシップ参加奨励補助金

インターンシップの促進を図るため、参加者に補助金を交付した。

対 象 者	大学等に在学する者で、市内企業等へのインターンシップに参加した者
補助対象経費	・交通費（居住地から市内企業までの往復の移動に要した鉄道賃、船賃、航空賃） ・宿泊費（市内宿泊施設の利用に要する費用）

補助率	<ul style="list-style-type: none"> ・交通費 市職員の旅費算出の例により計算した補助対象経費に2分の1を乗じて得た金額(100円未満切捨) 限度額15,000円 ・宿泊費 補助対象経費に2分の1を乗じて得た額(100円未満切捨) 1泊当たり3,000円、かつ、5泊分を限度
-----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

・補助実績 4件 43,400円

カ 伊勢市地元企業就職PR動画制作補助金

人材を確保するために自社の魅力を発信する動画を制作する事業者に補助金を交付した。

対象者	市内に事業所を有する中小企業者等
補助対象経費	動画の制作に要する経費
補助率	補助対象経費に4分の3を乗じて得た金額(1,000円未満切捨) 限度額100,000円

・補助実績 4件 383,000円

(3) 中小企業退職金共済制度奨励補助金

中小企業者の従業員の福祉の増進と雇用の安定を図るため、特定退職金共済制度又は中小企業退職金共済制度に新たに従業員を加入させた事業者に補助金を交付した。

対象者	市内に事業所を有する中小企業者
補助対象経費	新たに制度に加入させた従業員に係る退職金共済契約を締結した月から納付した12か月分の掛金
補助率	補助対象経費に100分の20を乗じて得た金額(1,000円未満切捨) 限度額(1人につき)年額12,000円

・補助実績 57件 1,852,000円

2 勤労者福祉事業

(1) 伊勢地域勤労者福祉サービスセンター補助金

伊勢市、鳥羽市及び玉城町の区域内の中小企業で働く勤労者と事業主への勤労者福祉制度の充実を推進し、併せて中小企業者の発展を図るため、一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターに対して管理運営費の補助を行った。

名称	一般社団法人 伊勢地域勤労者福祉サービスセンター
所在地	八日市場町13番13号(サンライフ伊勢内)
実施事業	生活安定事業、健康管理事業、教室事業、余暇活動事業、余暇施設事業など
補助金額	13,284,000円(うち伊勢市負担金額10,359,000円)
会員数 (令和5年3月1日時点)	828事業所、5,139人

(2) 勤労者ふれあい事業

10月10日(月・祝) 県営サンアリーナにて、一般社団法人伊勢志摩労働者福祉協議会等と共催で、福祉フェスティバル「勤労者ゆとりT・I・M・E you・ゆう・遊ing」を開催した。

3 高年齢者労働対策事業

(1) 高年齢者労働能力活用事業費補助金

高齢化が進展する中、高年齢者の多様化する就業ニーズに対応するため、労働対策及び生きがい対策の一環として設立した、公益社団法人伊勢市シルバー人材センターに対して管理運営費の補助を行った。

名称	公益社団法人 伊勢市シルバー人材センター
所在地	西豊浜町141番地1
実施事業	高齢者に相応しい臨時的・短期的な就業(軽作業)、福祉・家事援助サービス等の提供
補助金額	18,443,000円
会員数等 (令和5年3月末時点)	会員数742人、延べ就業人数71,011人 受託件数3,298件、契約金額349,115,162円

4 勤労者福祉施設管理運営事業

(1) サンライフ管理運営事業

管理運営を指定管理者に委ねるとともに、施設の維持管理のため設備改修等を実施した。

また、施設類型別計画に基づき、令和5年度末をもって運営を終了とするなど、廃止に向けた調整を行った。

指定管理者	指定管理料 (令和4年4月～令和5年3月分)
一般社団法人 伊勢地域勤労者福祉サービスセンター	5,053,000円

ア 運営状況

(ア) 利用件数及び利用者数

区分	研修室	会議室	職業講習室	教養文化室	体育室	トレーニング室	計
利用件数	件 300	件 128	件 455	件 369	件 829	件 16,614	件 18,695
利用者数	人 2,907	人 1,135	人 9,267	人 5,624	人 18,792	人 16,614	人 54,339

(イ) 利用料収入

区分	施設利用料	設備器具利用料	冷暖房設備利用料	計
4. 4～5. 3	14,619,830円	359,990円	285,400円	15,265,220円

(ウ) 自主事業

区分	講座の種類と講座数	講座回数	延べ受講者数
趣味づくり	10種 30講座	366回	6,569人
健康づくり	10種 30講座	579	12,781
短期教室	2種 2講座	15	182
計	22種 62講座	960	19,532

(2) 労働福祉会館管理運営事業

労働者の福利増進及び市民の文化向上に寄与するため、会議室の貸室、維持管理を行った。

(ア) 使用件数及び使用者数

区 分	大会議室	第1会議室	第2会議室	第3会議室	第4会議室	計
使用件数	件 185	件 349	件 299	件 66	件 176	件 1,075
使用者数	人 7,218	人 4,753	人 2,595	人 1,399	人 1,278	人 17,243

(イ) 使用料収入

区 分	施設使用料	設備器具 使用料	冷暖房設備 使用料	計
4. 4～5. 3	1,693,216 円	86,230 円	306,340 円	2,085,786 円

○産業支援関係

1 企業立地推進事業

(1) 企業訪問の実施

新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しつつ企業訪問や企業展へ参加することにより、立地に関する企業ニーズ、先進事例の情報把握を行った。

訪 問 地 域	訪問件数	備 考
県外	件 21	(首都圏12件、中京圏9件)
県内(市内除く)	3	—
市内	14	—
計	38	—

(2) 伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンによる企業誘致

連携市町：鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、南伊勢町

目 的：三重県内では、道路交通網・リニア新幹線の整備状況から北勢方面への企業立地が盛んである。伊勢志摩地域には大規模な工業団地が無く、市町が個別にPRするのではなく、広域で企業誘致活動をし、操業環境を周知していくことを目的とする。

取組内容：三重県が主催する企業セミナーへの参加

伊勢志摩地域の魅力や立地優遇制度のPRを行い、新たな企業の誘致や雇用の創出につなげるとともに、伊勢志摩の観光や物産の紹介をするなど、伊勢志摩を総合的にPRすることを目的にセミナーへ参加した。

開 催 日	内 容	場 所	参加人数
5. 2. 9	三重県企業ネットワークセミナー	ホテルルポール麴町 (東京都千代田区平河町二丁目4番3号)	人 80

(3) サン・サポート・スクエア伊勢の立地企業への支援

サン・サポート・スクエア伊勢に立地している企業の設備投資に伴う用地確保のため、外

周道路に隣接する緑地の売却を行い、設備投資を支援した。

所在地	地目	面積	筆数	契約日	金額
伊勢市朝熊町字東谷 3477 番 50	雑種地	915.74 ^{m²}	1	4. 4. 1	3,966,985 ^円
伊勢市朝熊町字鴨谷 4383 番 506	雑種地	309.90	1	4. 4. 1	1,342,486
合計	—	1,225.64	2	—	5,309,471

(4) 企業立地マッチング促進事業

企業立地の促進及び産業用地等の有効活用を図るため、立地を希望する企業と産業用地の情報を持つ宅地建物取引業者をマッチングしている。

産業用地等を紹介する不動産情報提供者として登録のある宅地建物取引業者数 26 社

2 工場等誘致奨励事業

(1) 各種奨励制度の周知

市内への工場等の誘致・誘導について、企業訪問や日本立地センター（立地.net）ホームページ、伊勢市ホームページへの掲載により各種奨励制度の周知に努めた。

(2) 工場等誘致奨励金の交付

本市における産業の振興及び雇用の促進を図り、もって地域の活性化に資するため、伊勢市工場等立地促進条例に基づき奨励金を交付した。

交付先	交付決定額	概要
有限会社二軒茶屋餅角屋本店	865,400 ^円	設備投資奨励金
伊勢金型工業株式会社	1,153,400	設備投資奨励金
株式会社永南	2,417,600	設備投資奨励金
ヤマナカフーズ株式会社	2,071,300	設備投資奨励金
株式会社ブランカ	923,600	設備投資奨励金
村田機械株式会社	6,489,200	設備投資奨励金
株式会社鈴工	1,041,900	設備投資奨励金
AMI 株式会社	444,600	設備投資奨励金
株式会社 U L J a p a n	7,122,000	設備投資奨励金
株式会社ふじよし	1,581,900	設備投資奨励金
株式会社 A - L I N E	1,600,000	雇用奨励金
株式会社岩戸の塩工房	600,000	雇用奨励金
計（12 件）	26,310,900	—

3 中小企業等経営強化法に基づく先端設備等導入計画の認定

中小企業者が設備投資を通じて労働生産性の向上を図るため、国の指針や伊勢市が定める導入促進基本計画に沿った先端設備等導入計画を策定した場合に認定を行った。先端設備等導入計画の認定を受けた中小企業者は、税制支援や金融支援を受けることができる。

認定件数	根拠法令
19 件	中小企業等経営強化法

農 林 水 産 課

○ 農業振興関係

1 農業経営基盤強化促進事業

(1) 経営改善・就農計画支援活動

「伊勢市農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想」に基づき、優れた農業経営体を目指して、農業経営の改善を計画的に進めようとする者が作成した農業経営改善計画や、農業経営の発展目標を明らかにし、新たに農業経営を営もうとする者が作成した青年等就農計画を認定し、これらの計画の推進を支援した。

認定農業者 130人（令和5年3月末現在、うち令和4年度新規認定11人）

※広域認定15人を含む

認定新規就農者 13人（令和5年3月末現在、うち令和4年度新規認定7人）

(2) 利用権設定等促進事業

効率的かつ安定的な農業経営を確立するため、関係機関・団体が農地の流動化に関する情報を共有し、連携して認定農業者等の育成すべき農業経営者への農地の利用集積を推進した。

・農業経営基盤強化促進法に基づく利用権等設定面積

区 分	面 積
利用権設定(R5.3末現在)	ha 747.5
R4.4～R5.3実績	
設 定	204.3
中途解約	28.8
所有権移転	0

2 農業関係制度資金の活用等

(1) 伊勢市特別融資制度推進会議

効率的かつ安定的な農業経営を目指す農業者が必要とする農業関係資金の適正かつ円滑な融資運営等を支援するため、関係機関による伊勢市特別融資制度推進会議において、貸付けの認定等を行った。

資 金 名	認定件数	借入総額
農業近代化資金	件 14	円 71,800,000
農業経営改善促進資金 (スーパーS資金)	3	22,000,000
農業経営基盤強化資金 (スーパーL資金)	4	291,970,000
青年等就農資金	6	21,930,000
計	27	407,700,000

(2) 利子補給補助事業

経営改善を目指す認定農業者を支援するため、農業近代化資金等の借入れに際し、発生する利子の一部を助成した。

資金名		件数	借入残高	利子補給額	備考
農業近代化資金	上半期 (1～6月)	54	53,952,000	67,530	市単独事業
	下半期 (7～12月)	47	96,398,000	75,444	
農業経営基盤強化資金 (スーパーL資金)		14	645,291,856	547,997	〃
計		—	—	690,971	

3 第4次伊勢市食育推進計画策定

市民が食に関する正しい知識の習得や理解を深め、健康な食生活を実践できるよう、食育に関する施策を総合的に推進するために策定した第3次伊勢市食育推進計画の計画期間が終了することに伴い、関係機関との協議及びパブリック・コメントを経て第4次伊勢市食育推進計画を策定した。

印刷製本費 99,550 円

4 新規就農者関係事業

(1) 農業次世代人材投資資金

新規就農するにあたって所得の確保が課題となっていることから、経営の不安定な就農初期の青年就農者に対する補助金を交付し、青年就農者の増加及び就農後の定着を図った。

事業費 8,536,863 円

交付額 8,536,863 円 (年間)

【内訳】 588,107 円 (半年分) × 対象者 1 人分 (交付期間終了)
 + 685,248 円 (1 年分) × 対象者 1 人分 (交付期間終了)
 + 1,388,508 円 (1 年分) × 対象者 1 人分 (継続)
 + 1,375,000 円 (1 年分) × 対象者 1 人分 (継続)
 + 1,500,000 円 (1 年分) × 対象者 3 人分 (継続)

※令和2年度以前の採択者においては、経営開始1年目は150万円。経営開始2年目以降は(350万円－前年の総所得) × 3/5により得られた額。ただし、前年の総所得が100万円未満の場合は150万円。

令和3年度の採択者においては、経営開始1年目から3年目は150万円。経営開始4年目及び5年目は120万円。ただし前年の世帯の所得が600万円以上の場合は交付無し。

令和4年度以降は、国の事業改変により(2)経営開始資金にて支援を行っている。

既存の採択者においては採択年度ごとの要綱に基づき補助金交付を実施。

(2) 経営開始資金 (旧：農業次世代人材投資資金)

新規就農するにあたって所得の確保が課題となっていることから、経営の不安定な就農初

期の青年就農者に対する補助金を交付し、青年就農者の増加及び就農後の定着を図った。

事業費 3,000,000 円

交付額 3,000,000 円（年間）

【内訳】 1,500,000 円（1 年分）×対象者 2 人分（新規）

※経営開始直後の新規就農者（原則 50 歳未満）に対し、最長 3 年間、1 人あたり 1 か月 12 万 5 千円（定額）の年間最大 150 万円の給付金を給付する。前年の世帯の所得が 600 万円以上の場合は交付無し。

（3）経営発展支援事業

次世代を担う農業者となることを志向する者に対して、就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入等の取組に係る費用に対して補助を行った。

実施事業者	作物	事業内容	事業費	補助額
認定新規就農者 （個人）①	いちご	育苗ベンチ一式	円 1,650,000	円 1,237,500
		予冷库 1 台	830,500	622,500
認定新規就農者 （個人）②	いちご 梨	スピードプレイヤー (80ℓ/分)1 台	3,350,000	2,512,500
		乗用草刈機 (刈幅 975mm)1 台	1,400,000	1,050,000

（市補助額に対し国・県全額補助）

※当事業は、補助対象経費に対し県が支援する額の 2 倍までの額（1,000 円未満切捨て）を国が支援する事業であり、令和 4 年度において三重県は補助対象経費に 4 分の 1 を乗じて得た額（500 円未満切捨て）を支援したことから、補助金の額は上記のとおりとなる。

なお、補助上限額は 1,000 万円を上限であり、（2）経営開始資金を受給している場合は上限額 500 万円となる。

（4）経営継承・発展等支援事業

将来にわたって地域の農地利用等を担う後継者を確保することを目的に、農業経営を継承し、新規に農業経営を始める認定新規就農者に対して、経営を拡大・発展していく中で必要な機械等の購入に対して支援を行った。

実施事業者	作物	事業内容	事業費	補助額
認定新規就農者 （個人）	青ネギ 白ネギ	皮むき機・根切り機・ 葉切り機	円 1,320,000	円 1,000,000

（市 1 / 2 ・ 国 1 / 2 補助）

※当事業は、補助対象事業費に対し 1 / 2 の額を市が支援する場合に限り、国も 1 / 2 の額を支援する事業であり、補助対象事業費に対し最大 100 万円の補助金を交付する事業となる。

（5）伊勢市新規就農者支援事業補助金

本市の農業後継者及び担い手の確保・育成を図るため、認定新規就農者に対し、農業経営

の開始に要する経費の一部を支援し、就農後の定着を図った。

実施事業者	作物	事業内容	事業費	補助額
認定新規就農者 (個人)①	いちご	液肥自動混入器	円 441,430	円 220,000
認定新規就農者 (個人)②	いちご 梨	電動運搬車	158,000	79,000
認定新規就農者 (個人)③	いちご	イチゴ高設栽培用耕運機	179,850	89,000
認定新規就農者 (個人)④	きんこ芋	管理機一式	689,000	344,000
認定新規就農者 (個人)⑤	いちご	イチゴ育苗ベンチ自動 灌水装置	996,490	498,000
認定新規就農者 (個人)⑥	青ネギ	パイプハウス	1,298,000	649,000
認定新規就農者 (個人)⑦	いちご	動力噴霧器等	149,608	74,000

(市単独事業)

※補助金の額は、補助対象経費に2分の1を乗じて得た額(その額に1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額)とし、認定新規就農者として認定されている期間内において累計100万円を限度とする。

5 担い手確保・経営強化支援事業補助金

地域の中心となる農業経営体等が、融資を活用して農業用機械等を導入し経営改善・発展に取り組む場合に支援を行うため、関係団体と調整を行った。

6 強い農業・担い手づくり総合支援補助金

地域の中心となる農業経営体等が、融資を活用して農業用機械等を導入し経営改善・発展に取り組む場合に支援を行うため、関係団体と調整を行った。

7 遊休農地活用事業

農村環境や農業経営の現場で様々な問題を引き起こす遊休農地の解消を図るため、地域農業の担い手が遊休農地を活用して営農するにあたり、その再開に必要な草刈りや耕起など、遊休農地を営農可能な状態に回復するための支援を行った。

実施農業者	事業費	解消面積	補助額
(有)トラストファーム小俣	円 647,202	a 22	円 220,000

交付単価 補助対象経費の2分の1以内の額(上限:10,000円/a)(市単独事業)

年度	遊休農地面積	農地全体に占める割合
2	ha 94.4	% 2.9
3	88.4	2.7
4	87.1	2.7

8 農業振興事業

農家のグループやJ A伊勢生産者部会、集落営農組織などが行う地域農業の振興に資する取組について、補助金を交付することで支援を行った。

(1) 三重県伊勢志摩指導農業士会活動助成金

地域農業のリーダーである指導農業士会が行う農業後継者育成の活動及び地域農業の振興に資する活動に対する支援を行った。

交付先 伊勢志摩指導農業士会

事業費 591,436 円

補助額 100,000 円 (20,000 円/人×市内在住 5 人分) (市単独事業)

(2) 三重県伊勢志摩青年農業士連絡協議会活動助成金

地域農業の担い手である青年農業士連絡協議会が行う農業技術向上のための研修交流及び地域農業の振興に資する活動に対する支援を行った。

交付先 伊勢志摩青年農業士連絡協議会

事業費 410,448 円

補助額 40,000 円 (10,000 円/人×市内在住 4 人分) (市単独事業)

(3) 農業振興補助金

農業が持続的に営まれることで、農村環境が良好に保たれることから、農業者等の地域農業や農業振興に資する取組を支援することで、担い手の育成確保や生産活動の強化を図った。

実施事業者	作物	事業内容	事業費	補助額
(有)トラストファーム小俣	主穀	収量センサー付コンバインの導入による圃場ごとの収量データの収集体制の整備	円 9,250,000	円 2,775,000
ファームハマグチ(有)	野菜	自走式動力噴霧器の導入による作業の効率化及び地域の担い手の営農体制の整備	873,000	261,900

(市単独事業)

(4) 特色ある農産物づくり支援事業補助金

有機・減農薬栽培の促進、先進的又は地域の特色ある農産物づくりに取り組む農業者に対する支援や、地域農業の活性化を図るため、関係団体と調整を行った。

(5) 農業振興地域整備促進事業

農業振興地域整備計画に基づき地域内における計画的土地利用を進める中、農業諸情勢の変化に対応して、地域の土地利用の動向を踏まえ、他の土地利用との調整を図り、地域の特性及び課題に応えるべく、農用地区域の見直しを行った。

農用地利用計画変更面積：令和 4 年度申出による変更及び変更予定分

利用計画変更分	件数	筆数	面積
農用地除外	件 3	筆 3	m ² 1,502.00

農用地編入	件 1	筆 84	m ² 41,958.00
用途変更(農地から施設用地)	8	12	9,635.00
用途変更(施設用地から農地)	1	1	550.00

事業費 168,000 円 (市単独事業)

(6) 産地生産基盤パワーアップ事業

一定のまとまりを持った産地において、機械や施設等の導入を行うことで、産地全体の販売額等の10%以上の増加を目標として事業に取り組むものに対して、計画の作成等に関する支援を行った。

産地の範囲	作物	対象者数 (うち伊勢市内)	事業内容	事業費 (うち伊勢市内) 円	補助額 (うち伊勢市内) 円
伊勢市、玉城町、 度会町、大紀町、 鳥羽市、志摩市、 紀北町、御浜町	いちご	伊勢いちご スマート農業 研究会会員 20人 (9人)	栽培の高度化にか かかる機械の導 入やハウスの建 設に取り組み、 規模拡大や品質 向上による販売 額の増加を図る	193,931,526 (121,274,700)	76,109,000 (56,334,000)

(伊勢市農業再生協議会事業のため、対象者に対して県より直接補助)

(7) 伊勢市農村振興基本計画改定

平成29年度に策定した第2次伊勢市農村振興基本計画について、農業分野における環境変化、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う社会情勢の急激な変化等に対応するため、計画策定から5年を経過する令和4年度に計画の中間改定を行った。なお、改定作業については、外部委託により実施した。

委託期間：令和4年6月29日～令和5年3月10日

委託金額：2,530,000円

日程	会議名等	主な内容
4. 8. 3	第1回伊勢市農村振興基本計画策定委員会	・諮問 ・伊勢市農村振興基本計画改定についての協議
4. 9. 5	第2回伊勢市農村振興基本計画策定委員会	・伊勢市農村振興基本計画の素案について
4.10.18	第3回伊勢市農村振興基本計画策定委員会	・伊勢市農村振興基本計画の素案について
4.12. 5～ 5. 1.10	パブリック・コメント	
5. 1.13	第4回伊勢市農村振興基本計画策定委員会	・パブリック・コメントの結果について ・伊勢市農村振興基本計画改定案について
5. 2. 6		・答申
5. 3.17		・計画改定の公告

9 経営所得安定対策推進事業

水田を活用して小麦・野菜等を作付している農業者に対して交付金を交付することにより、農業経営の安定や農地の有効利用を図った。

推進事業費 6,162,073 円（補助 5,952,000 円 市単独 210,073 円）

交付対象者 175 名

交付額 386,212,830 円（国から対象者へ直接交付）

10 国産小麦産地生産性向上事業

水田を活用して小麦を作付する農業者のうち、作付面積の拡大や収量の増加、品質の向上を図る者に対して、伊勢市農業再生協議会を通して交付金を交付することにより、支援を行った。

交付対象者 12 名

交付額 15,099,100 円（農業者への補助：15,087,000 円 推進事務費：12,100 円）

11 6次産業化推進事業

農産物の6次産業化を主体となつて行う農業者やそれらを構成する団体に対し、市内産の農産物を使用した新たな加工品の開発や販売などに係る必要な経費に対して支援を行い、市内の農産物の6次産業化の推進を図った。

実施事業者	作物	事業内容	事業費	補助額
NPO 法人 mina	野菜	自らが生産したサツマイモや小菜を干し芋や漬物に加工・販売するための機械等一式の導入	円 1,052,350	円 526,000

（市単独事業）

12 人・農地問題解決加速化支援事業

農業が厳しい状況に直面している中で、持続可能な力強い農業を実現するためには、基本となる人と農地の問題を一体的に解決していく必要がある。そこで、それぞれの集落・地域において話し合いを行い、集落・地域が抱える人と農地の問題を解決するための「未来の設計図」となる「人・農地プラン（地域農業マスタープラン）」の作成に関する支援を行った。

- ・令和4年度に作成したプラン：磯町、村松町、小俣町明野（変更）
- ・人・農地プラン作成地域 15 地区 【栗野町、小俣町西新村、小俣町元町・相合・東新村、小俣町湯田、小俣町明野、小俣町宮前、中須町、上地町、西豊浜町上区、西豊浜町森区、西豊浜町小川区、植山町、磯町、村松町、伊勢市全域（作成済地域を除く）】

13 農地中間管理事業

今後、農業者の減少により耕作者のいない農地の増加が見込まれる。そこで、「人・農地プラン（地域農業マスタープラン）」と連携しつつ、農地の中間受け皿となる農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化に対する調整を行った。

農地中間管理事業を活用した貸借面積

R4 年度	累計面積
ha 135.6	ha 249.7

14 農産物ブランド化推進事業

市内農産物（青ねぎ、いちご、トマト、かぼちゃ、蓮台寺柿、横輪いも）の生産量拡大、販路拡大、高付加価値化、知名度の向上を推進する取組を行う団体等に対する支援を行った。また、市内農産物の知名度の向上を図るため、観光誘客課と連携し、PRイベントを実施し、地域農業の活性化を図った。

(1) 農産物ブランド化推進事業補助金

実施事業者	作物	事業内容	事業費	補助額
J A伊勢蓮台寺柿部会	蓮台寺柿	見た目や大きさがより秀でた高品質果実を差別化して販売することに対応できる高性能計数処理装置の導入	円 2,640,000	円 1,000,000

(市単独事業)

(2) PRイベントの状況

開催日	対象農産物	場所	事業内容
4. 10. 15～4. 10. 17	蓮台寺柿	おかげ横丁 (三重県伊勢市)	蓮台寺柿の販売、試食及び蓮台寺柿の干し柿の販売
5. 2. 11～5. 2. 12	いちご	〃	伊勢市産いちご「かおり野」の販売、試食及び加工品「バウムクーヘン」と「いちごジャム」の販売

事業費 194,634円 (市単独事業)

15 水田等環境改善事業

市内の農地において農業者が行うスクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）防除事業に要する経費に対して支援し、農業の生産性の向上及び所得の安定並びに農作物被害の軽減を図った。

事業名	申請件数	事業費	補助額
駆除事業	件 16	円 1,164,315	円 741,170
予防事業	22	1,673,325	1,038,490
計	38	2,837,640	1,779,660

(市単独事業)

16 地産地消推進事業

(1) 伊勢市地産地消の店認定制度

市内産農林水産物を食材として取り扱う飲食店等を、伊勢市地産地消の店として認定し、当該店の地産地消に係る取組を消費者に周知することにより、市内産農林水産物の消費及び需要の喚起を図った。(事業費 48,903円・市単独事業)

- ・令和4年度認定店舗数：3店舗
- ・令和4年度認定辞退店舗数：1店舗
- ・認定店舗数：57店舗（飲食店35、宿泊施設3、直売所7、小売店6、量販店6）

(令和5年3月末現在)

(2) 伊勢市農産物等消費推進事業補助金

地域農業における農村コミュニティの再構築や地域農業の維持発展を目的に、地域で採れた農産物などを地域で消費する「地産地消」の活動を行う農産物直売所に対して消耗品や資材面で支援を行うため、関係団体と調整を行った。

(3) 学校給食への市内農水産物の活用支援

学校給食に市内産農水産物を活用し、地元食材を紹介することにより、生産者への感謝の念、地域産業や文化を理解し、郷土への関心を深め、より健全な食生活を実践できる児童生徒の育成を図った。

事業主体 伊勢市学校給食協会
負担金 845,358 円 (市単独事業)

提供食材	提供時期	回数
蓮台寺柿	10月	1回
青ねぎ	11月	2回
いちご	1月	1回
のり(きざみ・焼き)	2月	1回

(4) いせっ子朝食メニューコンクールによる地産地消推進

伊勢市内の地場産物を活用した朝食のメニューを子どもたち自身が考え調理することで、自らの食生活に関心を持ち、食の大切さや地場産物とその生産者への理解を深めるため、学校教育課と共同で「いせっ子朝食メニューコンクール」を実施した。

また、コンクールで受賞したメニューを活用し地産地消の推進を図った。

(事業費 25,579 円・市単独事業)

17 農業体験学習事業

食育推進の一環として農業体験を含む食育の機会を設け、食の大切さ、食を育む産業である農業の大切さなどについて考えてもらう機会を提供した。

なお、実施予定であった稲作体験(稲刈り)については、天候によるほ場状態不良のため中止となった。

事業費 563,330 円 (市単独事業)

実施日	対象	内容
【水稻】		
4. 4. 26	修道小 5年生(68人)	田植え:小俣町
〃	厚生小 5年生(51人)	〃
〃	早修小 5年生(24人)	〃
4. 5. 10	みなと小 5年生(54人)	田植え:村松町
〃	中島小 5年生(41人)	〃
〃	明倫小 5年生(36人)	〃
【蓮台寺柿】		
4. 10. 27	佐八小 2,3年生(8人)	収穫等:勢田町

【横輪いも】 4. 11. 16	上野小	4年生（18人）	収穫等：横輪町
【青ねぎ】 4. 12. 9	明野小	3年生（102人）	収穫等：小俣町
【花き】 5. 3. 1	豊浜東小	1～3年生（23人）	フラワーアレンジメント：豊浜東小学校

○ 施設管理関係

1 農業用施設維持補修

農道及び農業用排水路の機能を保持するため、修繕工事や橋梁点検、草刈業務委託、重機借上・原材料支給等を行い、農村環境・農業基盤の整備を図った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
上地町内	汁谷川樹木伐採業務委託	伐採業務一式	円 99,000	4. 5. 25	4. 6. 1
藤里町内	(注) 伊勢市跨道橋定期点検業務委託	橋梁点検 1橋	930,600	4. 7. 11	5. 2. 28
中須町内ほか	菱川除草業務委託	除草 4,860 m ²	576,400	4. 7. 14	4. 8. 31
二見町光の街地内	二見町光の街歩道除草業務委託	除草業務一式	99,000	4. 7. 25	4. 7. 28
上地町内	上地町地内排水路除草業務委託	〃	55,000	4. 8. 17	4. 8. 19
一之木4丁目地内	農業用排水施設(ホトス池)除草業務委託	〃	99,000	4. 8. 18	4. 8. 31
栗野町内	菱川除草(その2)業務委託	〃	99,990	4. 9. 2	4. 9. 8
二見町松下地内ほか	二見町ふるさと農道除草業務委託	〃	99,049	4. 9. 7	4. 9. 21
上地町内	汁谷川樹木撤去業務委託	樹木撤去業務一式	99,000	4. 11. 7	4. 11. 11
〃	上地町地内排水路除草(その2)業務委託	除草業務一式	99,000	5. 2. 1	5. 2. 6
上野町内ほか	農道台帳修正業務委託	農道台帳修正一式	1,540,000	5. 2. 24	5. 3. 24
上地町内ほか	汁谷川除草業務委託	除草 1,500 m ²	181,500	5. 3. 2	5. 3. 17
計	12件	—	3,977,539	—	—

(注) 基盤整備課へ執行委任

(2) 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
栗野町地	栗野町地内排水路柵蓋修繕工事	集水柵蓋修繕一式	円 99,000	4. 5. 25	4. 6. 10
檜原町地	檜原町地内排水路浚渫工事	排水路浚渫一式	99,000	4. 5. 26	4. 5. 31
津村町地	津村町地内排水路土砂撤去工事	排水路土砂撤去一式	168,300	4. 8. 5	4. 8. 31
中須町地	中須町地内排水路底面修繕工事	排水路底面修繕一式	99,000	4.11.16	4.12. 7
栗野町地	栗野町地内護岸ブロック修繕工事	護岸ブロック修繕一式	99,550	5. 1. 24	5. 2. 3
黒瀬町地	東池舗装工事	舗装 302 m ²	1,403,600	5. 2. 6	5. 3. 27
計	6 件	—	1,968,450	—	—

(3) 重機借上・原材料支給

	施行場所	金 額
		円
重機借上	東豊浜町地内ほか 9 件	4,684,900
原材料支給	黒瀬町地内ほか 1 件	481,327
計	—	5,166,227

(4) その他

注意看板、松下ふるさと農道電気使料 270,170 円

2 伊勢市都市農山村交流促進施設管理

(1) 施設管理

横輪地区活性化事業で整備した伊勢市都市農山村交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民と都市住民が集い触れ合う交流の場として地域の活性化を図った。

- ・施設名 伊勢市都市農山村交流促進施設 郷の恵「風輪」
- ・指定管理者 横輪町活性化委員会
- ・令和4年度指定管理委託期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日
- ・指定管理委託料 3,065,700 円
- ・施設利用状況

期 間	開館日数	来客人数
	日	人
4. 4. 1 ～ 4. 4. 30	24	1,680
4. 5. 1 ～ 4. 5. 31	23	291

4. 6. 1 ~ 4. 6. 30	日	人
4. 7. 1 ~ 4. 7. 31	24	243
4. 8. 1 ~ 4. 8. 31	23	304
4. 9. 1 ~ 4. 9. 30	22	242
4. 10. 1 ~ 4. 10. 31	23	271
4. 11. 1 ~ 4. 11. 30	23	597
4. 12. 1 ~ 4. 12. 31	20	420
5. 1. 1 ~ 5. 1. 31	20	265
5. 2. 1 ~ 5. 2. 28	21	290
5. 3. 1 ~ 5. 3. 31	24	1,118
計	268	5,910

(2) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
横 輪 町 地 内	宮山管理業務委託	管理業務一式	円 300,000	4. 4. 1	5. 3. 23

(3) その他

建物総合損害共済保険料等 38,041 円

3 二見しょうぶロマンの森維持管理

(1) 施設管理

伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、農村地域資源を活用し地域の活性化を図った。

- ・施設名 伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設
「民話の駅蘇民」「しょうぶ園」
- ・指定管理者 二見しょうぶロマンの森維持管理組合
- ・令和4年度指定管理委託期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日
- ・指定管理委託料 5,752,243 円
(電気料金等高騰に伴う補填分 123,543 円を含む)

・施設利用状況

期 間	開館日数	来客人数
4. 4. 1 ~ 4. 4. 30	日	人
4. 4. 1 ~ 4. 4. 30	30	10,583
4. 5. 1 ~ 4. 5. 31	31	12,485
4. 6. 1 ~ 4. 6. 30	30	13,070
4. 7. 1 ~ 4. 7. 31	31	11,946
4. 8. 1 ~ 4. 8. 31	29	10,918
4. 9. 1 ~ 4. 9. 30	30	9,611
4. 10. 1 ~ 4. 10. 31	31	10,660

4. 11. 1 ~ 4. 11. 30	日	人
	30	10,479
4. 12. 1 ~ 4. 12. 31	31	12,596
5. 1. 1 ~ 5. 1. 31	27	8,770
5. 2. 1 ~ 5. 2. 28	28	9,575
5. 3. 1 ~ 5. 3. 31	31	11,250
計	359	131,943

(2) 負担金

キャッシュレス決済利用を促すことにより、新型コロナウイルス感染症拡大防止及び利用者へのサービス向上に努めた。

決済手数料：794,278円

(3) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町松下地内	民話の駅蘇民浄化槽修繕工事	ブロワ取替1台	円 237,600	4. 7. 20	4. 8. 1
〃	民話の駅蘇民農産物直売所空調機修繕工事	空調機修繕一式	267,300	5. 3. 3	5. 3. 27
計	2件	—	504,900	—	—

(4) その他

建物総合損害共済保険料、土地賃借料等 837,773円

4 サンファームおばた維持管理

経営構造対策事業によって整備した産直施設である伊勢市農産物直売所の管理運営を行い、農家の市場出荷以外の販路を確保し、農業者の経営安定、担い手の育成等を図った。

- ・施設名 伊勢市農産物直売所「サンファームおばた」
- ・施設の概要 小俣町湯田 55 番地 鉄骨造折板葺平屋建 (429.12㎡)
- ・貸付先 有限会社 サンファームおばた
- ・貸付期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日
- ・空調設備修繕工事、土地賃借料等 1,159,567円
- ・施設利用状況

期間	開館日数	来客人数
	日	人
4. 4. 1 ~ 4. 4. 30	30	5,285
4. 5. 1 ~ 4. 5. 31	31	5,871
4. 6. 1 ~ 4. 6. 30	29	5,466
4. 7. 1 ~ 4. 7. 31	31	5,625
4. 8. 1 ~ 4. 8. 31	31	7,368
4. 9. 1 ~ 4. 9. 30	30	6,187
4. 10. 1 ~ 4. 10. 31	31	5,345
4. 11. 1 ~ 4. 11. 30	30	5,338

	日	人
4.12. 1 ~ 4.12. 31	30	6,793
5. 1. 1 ~ 5. 1. 31	26	5,697
5. 2. 1 ~ 5. 2. 28	28	6,423
5. 3. 1 ~ 5. 3. 31	31	6,618
計	358	72,016

5 多面的機能支払交付金事業

農村地域の過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつあり、地域の共同活動の困難化に伴い、農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理に対する担い手農家の負担の増加も懸念される場所である。当事業により地域においての農業用排水路等の保全管理と施設の長寿命化の活動を行うことにより農村環境の保全、農業・農村の有する多面的機能が今後とも適切に維持・発揮されることを目的とする。

当事業については、平成26年度は事業の移行期間、平成27年度に本格実施となり法律に基づき実施する事業となった。（農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律）

（1）農地維持支払、資源向上支払（地域資源の質的向上を図る共同活動）

事業実施期間は5年間とされており、従前の農地・水保全管理支払交付金事業から継続し実施する組織については、それぞれ制度実施年度から5か年が活動期間となる。

負担率 国1/2 県1/4 市1/4

交付金単価（国、県、市の合計）（事業を開始した年度によりそれぞれ変動）

◆農地維持支払 田：3,000円/10a 畑：2,000円/10a

◆資源向上支払（地域資源の質的向上を図る共同活動）

○従前の農地・水保全管理支払交付金事業5年間未実施組織及び資源向上支払（施設の長寿命化）未実施組織 田：2,400円/10a 畑：1,440円/10a

○従前の農地・水保全管理支払交付金事業5年間実施組織又は資源向上支払（施設の長寿命化）実施組織 田：1,800円/10a 畑：1,080円/10a

（2）資源向上支払（施設の長寿命化のための活動）

事業実施期間は3年間とされており、3か年が活動期間となる。

また、平成28年度からの法改正により、交付上限金額は対象農用地の面積に単価を乗じた金額又は、保全管理する区域内に存在する農業集落数に200万円を乗じた金額のいずれか小さい額と定められた。

負担率 国1/2 県1/4 市1/4

交付金単価（国、県、市の合計） 田：4,400円/10a 畑：2,000円/10a

（3）令和4年度活動組織交付額一覧表

◆農地維持支払・資源向上支払（地域資源の質的向上を図る共同活動）

今年度の交付額は要望額に対し100.0%の割当となった。

活動組織名	認定の位置	農用地 面積	交付額	うち 市負担額	活動開始 年度
一色資源等保全協議会	一色町地域	a 4,182	円 2,006,328	円 501,582	H29
森区ふるさと保全活動隊	西豊浜町森区地域	7,892	3,788,160	947,040	H29
伊勢北部地区自然を守る会	北部地域	6,234	2,637,312	659,328	H29
有滝の自然を守る会	有滝町地域	2,235	1,051,128	262,782	H29
村松ふるさと保全会	村松町地域	15,563	7,381,488	1,845,372	H29
柏町みのり会	柏町地域	5,501	2,626,548	656,637	H29
上地・水・土・里グループ	上地町地域	15,808	7,508,376	1,877,094	H29
こころ豊かなあわの村	粟野町地域	5,430	2,547,920	636,980	H29
鹿海町農地・水保全活動組織	鹿海町地域	4,186	2,009,280	502,320	H29
上野町日向野里	上野町地域	5,168	2,475,652	618,913	H29
弁天様協議会	円座町地域	3,675	1,764,000	441,000	H29
津村町地区農地・水・環境保全会	津村町地域	2,693	1,179,292	294,823	H29
楠部地区農地・水・環境保全会	楠部町地域	2,314	1,107,068	276,767	H29
佐八地区農地・水・環境保全会	佐八町地域	3,332	1,598,500	399,625	H29
中須町農地・水保全会	中須町地域	2,846	1,324,800	331,200	H29
まぜ創生グループ	馬瀬町地域	2,542	1,164,604	291,151	H29
通町ふるさと再生活動隊	通町地域	1,141	547,680	136,920	H29
水土里プロジェクトおばた	小俣町地域	27,708	12,376,200	3,094,050	H29
磯地区地域資源保全会	磯町地域	3,901	1,509,732	377,433	H29
荘田園環境を守る会	二見町荘地域	1,365	629,400	157,350	H29
上区資源環境保全プロジェクト	西豊浜町上区地域	12,353	5,837,592	1,459,398	H30
朝熊町地域資源保全会	朝熊町地域	2,193	1,179,496	294,874	H30
東大淀を守る会	東大淀町地域	17,791	8,451,444	2,112,861	R元
黒瀬町農地保全会	黒瀬町地域	1,342	644,160	161,040	R元
西環境保全会	二見町西地域	3,910	1,694,824	423,706	R2
小木町農地管理会	小木町地域	2,727	1,301,220	325,305	R2
御菌町高向農地環境保全会	御菌町高向地域	5,615	2,246,532	561,633	R3
小計	27 組織	169,647	78,588,736	19,647,184	—
※清し有田佐田沖環境保全会	小俣町地域	216	97,144	24,286	H29
計	28 組織	169,863	78,685,880	19,671,470	—

※伊勢市の面積を含む玉城町組織(平成30年度より市町を跨ぎ活動する組織については当該市町分の交付となった。)

◆資源向上支払(施設の長寿命化のための活動)

資源向上支払(施設の長寿命化のための活動)については、要望額に対し約67.5%の割当となった。

活動組織名	認定の位置	農用地 面積	交付額	うち 市負担額	活動開始 年度
西環境保全会	二見町西地域	a 3,910	円 989,929	円 247,482	H30
荘田園環境を守る会	二見町荘地域	1,365	381,126	95,282	H30
一色資源等保全協議会	一色町地域	4,182	1,241,151	310,288	R2
伊勢北部地区自然を守る会	北部地域	6,234	1,517,215	379,304	R2

柏町みのり会	柏町地域	a	円	円	R2
		5,501	1,350,076	337,519	
上地・水・土・里グループ	上地町地域	9,317	2,723,237	680,809	R2
こころ豊かなあわの村	粟野町地域	1,682	482,571	120,643	R2
上野町日向野里	上野町地域	5,168	1,350,076	337,519	R2
弁天様協議会	円座町地域	3,675	1,091,536	272,884	R2
津村町地区農地・水・環境保全会	津村町地域	2,693	693,102	173,276	R2
楠部地区農地・水・環境保全会	楠部町地域	1,518	449,251	112,313	R2
佐八地区農地・水・環境保全会	佐八町地域	3,332	988,849	247,212	R2
中須町農地・水保全会	中須町地域	2,846	806,427	201,607	R2
まぜ創生グループ	馬瀬町地域	2,542	702,687	175,672	R2
水土里プロジェクトおばた	小俣町地域	27,708	7,359,745	1,839,936	R2
上区資源環境保全プロジェクト	西豊浜町上区地域	12,353	1,350,076	337,519	R2
東大淀を守る会	東大淀町地域	17,791	1,350,076	337,519	R2
黒瀬町農地保全会	黒瀬町地域	1,342	398,596	99,649	R2
小木町農地管理会	小木町地域	2,727	802,674	200,669	R2
計	19組織	115,886	26,028,400	6,507,102	—

(4) その他

会計年度任用職員報酬等 3,361,636円

○ 畜産関係

1 松阪食肉公社運営事業

食肉の安全を確保するため、伊勢市を含む主要株主により三重県松阪食肉公社施設の経費を負担し、維持管理対策を図った。

事業主体 三重県松阪食肉公社

負担金 3,356,000円

2 三重県松阪食肉公社燃油等価格高騰対策

昨今の社会情勢の影響で燃油等価格が高騰し、公社の経営が悪化しつつあるなか、緊急で公社と関連自治体が協議し、松阪食肉公社は伊勢市を含む中南勢地域の畜産農家が多数利用している重要な施設であることを鑑み、通常の負担金とは別に臨時的に公社への支援を行った。

事業主体 三重県松阪食肉公社

負担金 1,856,000円

3 松阪肉牛共進会

松阪肉牛の質および生産技術の向上、肉牛肥育農家の振興のため、伊勢市を含む松阪牛生産区域内の市町等により松阪肉牛共進会へ負担金を支出し、消費の宣伝と流通の合理化を図った。

負担金 5,000円

4 伊勢市内松阪牛頭数（令和5年3月末現在）

登録頭数 619頭

○ 農業基盤整備関係

1 土地改良事業補助等

農業経営の安定に資するため、土地改良事業に対する経費を支出し、事業の円滑な推進及び農業農村の基盤整備を進めた。

(1) 補助金

土地改良区等が実施した事業に対して市の基準による補助金を交付した。

補助金 支出先	施行 年度	事業名	事業概要	事業費	市補助額
宮川用水 土地改良区	R4	土地改良施設維持管理適正化事業	上第2揚水機場整備補修	円 8,000,000	円 1,600,000
〃	〃	〃	森地区揚水機場整備補修	3,000,000	600,000
〃	〃	農業水路等長寿命化・防災減災事業	浜郷地区用水路整備補修	12,000,000	1,860,000
〃	〃	〃	東豊浜地区用水路整備補修	10,000,000	1,550,000
西豊浜町 小川区自治会 農事部	〃	小川地区空気弁取り替え工事	空気弁の取り替え	253,000	75,900
村松 土地改良区	〃	村松地区農道舗装工事	農道整備	968,000	968,000
伊勢北部 土地改良区	H14～ H15	(注) 県営ほ場整備事業 (伊勢北部地区)	区画整理工事	675,255	675,255
〃	R4	伊勢北部地区農道舗装工事	農道舗装	3,000,000	3,000,000
五十鈴川用水 土地改良区	〃	木出頭首工維持管理事業(鹿海町・一色町地内)	電気料金ほか	364,125	361,477
上野町 農家組合 日向沖	〃	農業用給水ポンプ分解整備事業	日向沖農業ポンプ分解整備	1,375,000	412,500
宮川右岸御菌 土地改良区	〃	農業水路等長寿命化・防災減災事業	御菌地区用水路整備補修	4,500,000	418,500
計		11件	—	44,135,380	11,521,632

※宮川用水土地改良区（土地改良施設維持管理適正化事業）への市補助額1,800,000円を令和5年度へ繰越

(注)「市補助額」は償還金に対する補助金額

(2) 県営事業等負担金

パイプライン整備等の国営関連県営事業等に対して負担金を支出した。

事業名・地区名(事業期間)	工事概要	事業費	市負担額
平成 28 年度～令和 3 年度 国営かんがい排水事業(国営施設応急対策事業)宮川用水地区 ・負担区分国 200/300、県 70/300 市町 30/300 (うち伊勢市 14. 3676/300)	粟生頭首工改修一式	千円 1, 667, 987	円 79, 885, 703
(注 1) 令和 3 年度 県営かんがい排水事業 宮川4工区(H18年度～R5年度) ・負担区分国50%、県29% 【幹線】市15% 宮川用水土地改良区6%	農業用排水施設一式	40, 000	3, 825, 000 【負担額計】 6, 000, 000 [令和 3 年度] 2, 175, 000 [令和 4 年度] 3, 825, 000
(注 1) 令和 3 年度 高度水利機能確保基盤整備事業 宮川左岸地区(H26年度～R8年度) ・負担区分国55%、県27. 5% 【幹線】市町10% (うち伊勢市4. 887%) 宮川用水土地改良区7. 5% 【支線】市町3. 307% (うち伊勢市1. 740%) 宮川左岸第二土地改良区 14. 193%	農業用排水施設 8, 010m 測量設計 一式 用地補償 一式	509, 650	9, 229, 500 【負担額計】 11, 476, 773 [令和 3 年度] 2, 247, 273 [令和 4 年度] 9, 229, 500
(注 1) 令和 3 年度 農業用施設アスベスト対策事業 城田・下外城田地区(H26年度～R5年度) ・負担区分 国55%、県35%、市町5% (うち伊勢市1. 918%) 宮川左岸第二土地改良区 5%	用水路工 1, 100m 測量設計 一式 用地補償 一式	80, 000	191, 800 【負担額計】 1, 534, 400 [令和 3 年度] 1, 342, 600 [令和 4 年度] 191, 800
(注 2) 令和 4 年度 高度水利機能確保基盤整備事業 宮川左岸地区(H26年度～R8年度) ・負担区分国55%、県27. 5% 【幹線】市町10% (うち伊勢市4. 887%) 宮川用水土地改良区7. 5% 【支線】市町3. 307% (うち伊勢市1. 740%) 宮川左岸第二土地改良区 14. 193%	農業用排水施設 10, 260m 測量設計 一式 用地補償 一式	858, 410	5, 220, 000 【負担額計】 21, 494, 996 [令和 4 年度] 5, 220, 000 [令和 5 年度] 16, 274, 996

(注2) 令和4年度 農業用施設アスベスト対策事業 城田・下外城田地区(H26年度～R5年度) ・負担区分 国55%、県35%、市町5% (うち伊勢市1.918%) 宮川左岸第二土地改良区5%	用水路工 測量設計 用地補償	2,250m 一式 一式	千円 151,500	円 306,880 【負担額計】 2,905,770 [令和4年度] 306,880 [令和5年度] 2,598,890
計	6件		3,307,547	98,658,883

※合計は、各行の最上段を合算

(注1) 令和3年度から一部繰越

(注2) 令和5年度へ一部繰越

2 農道整備事業

農業用道路において、舗装を行い、農業用車両が安全に通行できるよう適切な維持管理を行った。

(1) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
一色町 地内	一色町地内農道舗装等工事	舗装 94 m ² 暗渠 2.5m	円 1,449,800	4.10.21	4.12.13
村松町 地内	村松町地内農道舗装工事	舗装 457 m ²	3,147,100	4.12.23	5.2.24
計	2件	—	4,596,900	—	—

3 農業用排水路整備事業

農業用排水路において、老朽化した排水路を改良することにより、排水機能の回復と環境整備を行った。

(1) 委託関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着手	完了
御菌町 小林 地内	(注1)(注2) 御菌町小林地内排水路整備 工事に伴う設計業務委託	設計業務一式	円 5,309,700 【契約額】 5,309,700 [令和3年度] 0 [令和4年度] 5,309,700	4.7.1	4.10.28
鹿海町 地内	(注1)(注2) 鹿海町地内排水路整備工事 に伴う測量業務委託	測量業務一式	2,541,000 【契約額】 2,541,000 [令和3年度] 0 [令和4年度] 2,541,000	4.9.2	4.11.11

鹿海町内 地	(注1)(注2) 鹿海町地内排水路整備工事 に伴う設計業務委託	設計業務一式	円 4,398,900 【契約額】 4,398,900 [令和3年度] 0 [令和4年度] 4,398,900	4.12.2	5.3.24
計	3件	—	12,249,600	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

(注1) 令和3年度から繰越

(注2) 令和3年度と合併施行

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
西豊浜町内 地	西豊浜町地内排水路管理用 道路舗装工事	舗装 209㎡	円 2,290,200	4.9.2	4.11.10
黒瀬町内 地	(注1)(注2) 黒瀬町地内排水路整備工事	排水路補修 484m 泥溜 1か所 嵩上 1か所	52,401,800 【契約額】 52,401,800 [令和3年度] 0 [令和4年度] 52,401,800	4.9.16	5.3.24
二見町今一色 地	(注1)(注2) 二見町今一色地内排水路整 備工事	排水路整備 111m	26,581,500 【契約額】 26,581,500 [令和3年度] 0 [令和4年度] 26,581,500	4.10.28	5.3.24
栗野町内 地	栗野町地内排水路整備工事	張コンクリート 45㎡	1,177,000	4.11.16	5.2.8
上野町内 地	上野町地内排水路整備工事	底打コンクリート 94m 張コンクリート 2㎡	590,700	5.1.12	5.3.10
楠部町内 地	楠部町地内排水路整備工事	排水路整備 36m	856,900	5.2.13	5.3.24
二見町西 地	二見町西地内排水路防護柵 整備工事	防護柵 54m	1,111,000	5.2.16	5.3.17
二見町今一色 地	二見町今一色地内排水路整 備(その2)工事	工事用道路撤去 20m	44,000	5.3.28	5.3.31
計	8件	—	85,053,100	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

(注1) 令和3年度から繰越

(注2) 令和3年度と合併施行

4 農地中間管理機構関連農地整備事業

農地中間管理機構を通じた貸借関係に基づき、農地のほ場整備を行うため、県の受託を受け事業実施計画策定及び換地等調整業務を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
磯地町内	磯地区ほ場整備に係る換地等調整業務委託	換地等調整業務一式	円 4,741,000	4. 8. 31	5. 3. 15
〃	磯地区ほ場整備に係る事業実施計画策定業務委託	実施計画策定業務一式	16,757,400	4. 8. 31	5. 3. 20
計	2件	—	21,498,400	—	—

(2) 負担金

施行場所	事業内容	事業費	市負担額
磯地町内	磯地区高度水利機能確保基盤整備事業実施計画策定業務委託	千円 16,872	円 1,687,200

5 農村地域防災減災事業

農業用ため池等農業用施設について、地震や豪雨による災害の影響が大きい、ため池等の防災工事実施に向けた計画書の作成及び測量、調査を行った。

また、災害に強い農村づくりを進めるため、ため池への水位計設置及び県が実施する東池や朝熊川統合頭首工の改修工事、笹原池の提体改修工事に伴う測量設計業務に対して負担金を支出した。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
大地湊町内	(注1)(注2) 明神樋管撤去事業計画作成業務委託	実施計画書作成一式	円 9,496,300 【契約額】 9,496,300 [令和3年度] 0 [令和4年度] 9,496,300	4. 7. 29	5. 3. 15
黒瀬町内	(注1)(注2) ため池(西池)整備実施計画書作成に伴う地質調査業務委託	ボーリング 2本	4,028,200 【契約額】 4,028,200 [令和3年度] 0 [令和4年度] 4,028,200	4. 10. 21	5. 3. 10
〃	ため池(西池)整備実施計画書作成に伴う測量業務委託	測量業務一式	2,423,300	4. 11. 11	5. 1. 20

黒地 瀬町内	(注1)(注2) ため池(西池)整備実施計画 書作成業務委託	実施計画書作 成一式	円 8,140,000 【契約額】 8,140,000 [令和3年度] 0 [令和4年度] 8,140,000	4.11.11	5.3.29
津村町 地内ほか	(注1)(注2) ため池豪雨耐性劣化状況調 査業務委託	豪雨耐性・劣 化状況調査 3池	1,760,000 【契約額】 1,760,000 [令和3年度] 0 [令和4年度] 1,760,000	5.2.10	5.3.24
計	5件	—	25,847,800	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

(注1) 令和3年度から繰越

(注2) 令和3年度と合併施行

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
黒地 瀬町内	(注1)(注2) ため池(西池・東池)危機管 理型水位計設置工事	水位計設置 2基	円 2,948,000 【契約額】 2,948,000 [令和3年度] 0 [令和4年度] 2,948,000	5.1.27	5.3.15

(注1) 令和3年度から繰越

(注2) 令和3年度と合併施行

(3) 負担金

施行場所	事業内容	事業費	市負担額
黒地 瀬町内	(注1) 東池改修工事	千円 6,800	円 420,000 【負担額計】 680,000 [令和3年度] 260,000 [令和4年度] 420,000

朝熊町 地内	(注2) 朝熊川統合頭首工改修工事	千円 35,000	円 2,800,000 【負担額計】 2,800,000 [令和3年度] 0 [令和4年度] 2,800,000
佐八町 地内	(注3) 笹原池改修工事に伴う測量設計等業務委託	87,000	1,264,000 【負担額計】 8,700,000 [令和4年度] 1,264,000 [令和5年度] 7,436,000
計	3件	128,800	4,484,000

※合計は、各行の最上段を合算

(注1) 令和3年度から一部繰越

(注2) 令和3年度から繰越

(注3) 令和5年度へ一部繰越

(4) その他

水位計システム利用料(笹原、西、東池) 23,478円

6 農業用施設整備事業(ごみ処理施設周辺環境整備)

「ごみ処理施設整備に関する協定書」に基づき、老朽化した農業用排水路を改良することにより、建設予定地周辺の生活環境の保全及び増進を図った。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
西豊浜町 地内	西豊浜町地内排水路整備 工事	張コンクリート 497㎡	円 9,220,200	4.12.23	5.3.22

○ 土地改良施設維持管理事業

1 排水機等補修事業

土地改良施設維持管理適正化事業により農業用排水機等の維持補修を行うことで施設の機能を保持し、流域への冠水による被害を防止した。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
鹿海町 地内	(注) 鹿海排水機場実施設計書 作成業務委託	設計業務一式	円 935,000	4.7.19	4.8.31
有滝町 地内	(注) 社護神排水機場実施設計 書作成業務委託	〃	770,000	4.8.30	4.9.30

通地町内	(注) 通排水機場実施設計書作成業務委託	設計業務一式	円 583,000	5. 1. 17	5. 2. 15
〃	(注) 通排水機場実施設計書作成(その2)業務委託	〃	1,100,000	5. 1. 17	5. 2. 15
東豊浜町内 地	(注) 東豊浜第二排水機場実施設計書作成業務委託	〃	847,000	5. 1. 17	5. 2. 15
計	5件	—	4,235,000	—	—

(注) 維持課施行

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
鹿海町内 地	(注) 鹿海排水機場補修工事	エンジン改修一式	円 6,332,700	4.12. 1	5. 2. 28
有滝町内 地	(注) 社護神排水機場補修工事	ポンプ改修一式	7,656,000	4.12. 2	5. 3. 24
計	2件	—	13,988,700	—	—

(注) 維持課施行

(3) その他

土地改良施設維持管理適正化事業特別賦課金 6,565,750 円

2 樋門（農業用）維持管理

流域への湛水による被害を未然に防止するため、地元自治会等へ管理を委託することにより、樋門の機能を保持し、安全管理を図った。

(1) 三重県県土整備部所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委託先	管理委託料
東伊阿良	有滝町	有滝町会	円 25,000
土路西条 4号	西豊浜町	上区自治会	20,000
土路西条 5号	磯町	磯町自治会	20,000
矢田川	楠部町	楠部町自治会	27,000
津村	津村町	津村町自治会	20,000
宮沼	〃	〃	27,000
名古屋新田	二見町三津	三津区	27,000
計	7樋門	—	166,000

(2) 市所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委託先	管理委託料
満城	磯町	磯町自治会	円 27,000
磯	〃	〃	18,000

相合端	磯町	磯町自治会	円 20,000
堀の内	西豊浜町	森区自治会	20,000
中島	〃	小川区農事部	20,000
郷垣外	〃	〃	20,000
中坪井	〃	〃	20,000
下坪井	東豊浜町	東豊浜町西条自治会	20,000
浜	〃	〃	20,000
西浦	〃	〃	20,000
一本松	檜原町	檜原町会自治会	20,000
枯木州	〃	〃	20,000
地藏池	村松町	有滝町会	20,000
南挟間	〃	〃	18,000
西の小端 第一	〃	〃	18,000
西曾	西豊浜町	豊浜土地改良区	20,000
旧汐田	東大淀町	東大淀町会	27,000
明野	〃	〃	20,000
東勘坊	柏町	柏町会	23,000
大切戸	一色町	一色町自治会	27,000
戸部神	〃	〃	20,000
中渠	楠部町	楠部町自治会	27,000
小畑	中村町	中村土地改良区	20,000
八郎兵衛	鹿海町	鹿海町自治会	27,000
西新田	〃	〃	20,000
西沖	朝熊町	朝熊町自治会	20,000
保田	〃	〃	20,000
立岩	〃	〃	18,000
貝楠部	〃	〃	18,000
亀ヶ森	〃	〃	18,000
橘第二	〃	〃	18,000
橘	〃	〃	20,000
浜田	〃	〃	20,000
子良江古	〃	〃	20,000
雨渕川	上野町	上野町自治会	20,000
西	二見町西	西区	20,000
計	36樋門	—	744,000

(3) 樋門小修繕等

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
朝熊町内 地	保田樋門修繕工事	樋門修繕一式	円 79,200	4. 8. 1	4. 8. 24
一色町内 地	戸部神樋門ほか修繕工事	〃	99,550	4. 11. 15	4. 11. 25
計	2件	—	178,750	—	—

(4) その他

樋門等管理人傷害保険料等 237,714円

3 排水機維持管理経費

農業用だけでなく集落地域の雨水排水にも稼働している公共性の高い排水機場について、維持管理を土地改良区等へ委託又は補助することにより、農地及び集落の排水体制を維持した。

(1) 市所管排水機場操作業務委託

排水機場名	所在地	委託先	管理委託料
野口排水機場	東大淀町	東大淀土地改良区	円 50,000

(2) 土地改良区所管排水機場維持管理費補助

排水機場名	交付先	市補助額
村松排水機場	村松土地改良区	円 1,044,344
有滝第二排水機場	伊勢北部土地改良区	746,950
明野排水ポンプ	東大淀土地改良区	75,538
豊浜第二排水機場	豊浜土地改良区	23,283
社護神排水機場	有滝土地改良区	349,749
計	5件	2,239,864

(3) 土地改良施設の維持管理

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
鹿海町 地内ほか	(注) 農業用排水機場ほか 管理技術指導及び緊急 対応業務委託	技術指導 一式 月次点検 一式 応急整備、簡易 整備 一式 年次点検 一式 緊急対応 一式	円 631,294 【契約額】 18,480,000 [湛水防除] 13,462,908 [排水路維持費] 4,385,798 [農林水産課] 631,294	4. 4. 1	5. 3. 31

(注) 維持課へ執行委任

イ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
一色町 地内ほか	一色排水機場ほか 空調機設置工事	空調機設置 3か所	円 409,750	4. 8. 25	4. 10. 14
二見町 今一色 地内	今一色排水機場修 繕工事	流し台修繕 一式	61,358	5. 1. 13	5. 1. 30
二見町江 地内	江排水機場管理人 室改修工事	管理人室改修 一式	1,232,000	5. 1. 24	5. 3. 3

二見町江 地内	(注1)(注2) 江排水機場修繕工 事	除塵機修繕 一式	円 3,090,000 【契約額】 7,744,000 [令和4年度] 3,090,000 [令和5年度] 4,654,000	5. 1. 24	5. 8. 31
楠部町 地内	楠部第二排水機場 管理人室整備工事	管理人室整備 一式	1,958,000	5. 2. 3	5. 3. 27
計	5件	—	6,751,108	—	—

※合計は、各行の最上段を合算
(注1) 令和5年度へ一部繰越
(注2) 維持課施行

(4) 負担金

基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業で実施される農業用排水機場の遊水池の浚渫工事等に対して負担金を支出した。

施行場所	事業内容	事業費	市負担額
通町 地内ほか	(注1) 市内排水機場の遊水池の浚渫工事及びそれに伴う 業務委託	千円 68,300	円 10,014,000 【負担額計】 10,245,000 [令和3年度] 231,000 [令和4年度] 10,014,000
通町 地内	(注2) 通排水機場の遊水池の浚渫工事及びそれに伴う業 務委託	22,000	145,500 【負担額計】 3,300,000 [令和4年度] 145,500 [令和5年度] 3,154,500
二見町 松下 地内ほか	(注3) 松下・鹿海排水機場の遊水池の浚渫工事及びそれに 伴う業務委託	55,200	0 【負担額計】 8,280,000 [令和4年度] 0 [令和5年度] 8,280,000
計	3件	145,500	10,159,500

※合計は、各行の最上段を合算
(注1) 令和3年度から一部繰越
(注2) 令和5年度へ一部繰越

(注3) 令和5年度へ繰越

(5) その他

野口排水機場電気使用量等 181,257 円

4 排水機維持管理経費 (機能更新)

農業用として整備された排水機場について、長寿命化計画に基づき補修・更新を実施した。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
東大淀町 地内	東大淀排水機場事業計画 書修正業務委託	事業計画書修正一式	円 3,366,000	4. 6. 2	4. 11. 30
鹿海町 地内ほか	(注1)(注2) 鹿海排水機場ほか事業計 画書作成業務委託	事業計画書作成一式	49,270,100 【契約額】 49,270,100 [令和3年度] 30,000,000 [令和4年度] 19,270,100	4. 7. 29	5. 3. 15
計	2件	—	52,636,100	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

(注1) 令和3年度から繰越

(注2) 令和3年度と合併施行

(2) 負担金

県営排水施設整備事業で実施される農業用排水機場の保全工事等に対して負担金を支出する。

施行場所	事業内容	事業費	市負担額
通地 町内	(注1) 新田排水機場保全工事及びそれに伴う詳細設計業務 委託	千円 150,000	円 22,500,000 【負担額計】 22,500,000 [令和3年度] 0 [令和4年度] 22,500,000
”	(注2) 新田排水機場 (2期地区) 保全工事	130,000	0 【負担額計】 19,500,000 [令和4年度] 0 [令和5年度] 19,500,000

		千円	円
通地町内	(注2) 通排水機場詳細設計業務委託	12,000	【負担額計】 1,800,000 [令和4年度] 0 [令和5年度] 1,800,000
二見町西地内	(注3) 西排水機場保全工事及びそれに伴う詳細設計業務委託	312,000	1,976,250 【負担額計】 46,800,000 [令和4年度] 1,976,250 [令和5年度] 44,823,750
村松町内	(注3) 亀池排水機場保全工事及びそれに伴う詳細設計業務委託	148,000	1,375,200 【負担額計】 17,760,000 [令和4年度] 1,375,200 [令和5年度] 16,384,800
計	5件	752,000	25,851,450

※合計は、各行の最上段を合算

(注1) 令和3年度から繰越

(注2) 令和5年度へ繰越

(注3) 令和5年度へ一部繰越

○ 林業関係

1 林道修繕経費

大雨等による林道破損や倒木で通行に支障をきたした箇所について、必要な工事を施し、林道の機能回復を図った。

(1) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
朝熊町内	黒岩林道橋梁修繕工事	修繕一式	円 4,985,200	4.12.9	5.3.20
〃	林道茅堂線暗渠排水路修繕工事	〃	495,000	5.1.5	5.2.28
〃	黒岩林道路肩修繕工事	〃	99,000	5.3.14	5.3.15
計	3件	—	5,579,200	—	—

2 環境保全林管理経費

市民の憩いの場である三郷山・音無山・絆の森・市所有の横輪環境保全林において、清掃、草刈り、枝打ち等を実施し、保全林の環境維持等に努めた。

(1) 委託関係

施行場所	業務名	業務概要	金額	着手	完了
朝熊町内 地	絆の森管理業務委託	管理業務一式	円 300,000	4. 4. 1	5. 3. 15
浦口町内 地内ほか	三郷山清掃業務委託	清掃・パトロール業務一式	400,000	4. 4. 1	5. 3. 20
二見町茶屋 地内ほか	音無山管理業務委託	管理業務一式	523,580	4. 4. 1	5. 3. 27
岩淵1丁目 地内	市町版三重県森林資源情報管理システム運用業務委託	システム運用サービス一式	277,200	4. 4. 1	5. 3. 31
横輪町内 地	横輪環境保全林管理業務委託	管理業務一式	900,000	4. 4. 1	5. 3. 31
浦口町内 地内ほか	三郷山草刈等(その1)業務委託	草刈りほか 2.45ha	1,857,900	4. 6. 22	4. 8. 8
〃	三郷山給水施設衛生管理業務委託	清掃・点検一式	36,300	4. 7. 1	4. 8. 29
二見町茶屋 地内ほか	音無山蜂営巣調査業務委託	蜂営巣調査2回	39,600	4. 7. 1	4. 10. 5
浦口町内 地内ほか	三郷山樹木剪定等業務委託	樹木剪定等一式	99,000	4. 8. 24	4. 8. 30
二見町茶屋 地内ほか	音無山施設管理業務委託	草刈りほか 2.14ha	718,300	4. 8. 24	4. 11. 11
村松町内 地	村松松林下刈業務委託	下刈り 1.3ha	260,000	4. 10. 11	4. 11. 30
浦口町内 地内ほか	三郷山草刈等(その2)業務委託	草刈り 1.97ha	588,500	4. 10. 24	5. 1. 23
二見町茶屋 地内	音無山危険木剪定業務委託	剪定 1本	187,000	5. 1. 23	5. 1. 24
計	13件	—	6,187,380	—	—

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二俣町内 地	三郷山つどいの広場水栓パン 取替工事	水栓パン取替 一式	円 70,400	4. 6. 6	4. 7. 22
〃	三郷山受水槽ポンプ制御機器 取替工事	制御機器取替 一式	99,000	4. 8. 22	4. 8. 31
二見町茶屋 地内	音無山排水路土砂撤去工事	土砂撤去一式	99,000	4. 10. 19	4. 10. 31
二俣町内 地	三郷山受水槽ポンプ制御機器 取替(その2)工事	制御機器取替 一式	99,000	4. 12. 8	4. 12. 19
浦口町内 地	三郷山擬木階段修繕工事	遊歩道階段修繕 一式	660,000	4. 12. 20	5. 2. 17
二見町茶屋 地内	音無山遊歩道照明灯修繕工事	照明灯修繕1基	99,000	4. 12. 21	4. 12. 26
計	6件	—	1,126,400	—	—

(3) その他

電気使用料等 153,004 円

3 獣害防止事業

(1) 伊勢市鳥獣被害防止対策協議会

有害鳥獣による農作物等被害防止を目的に設立した伊勢市鳥獣被害防止対策協議会において、関係機関と一体となって各種事業に取り組んだ。

事業名	金額	概要
協議会一般事業	円 765,317	上野町地内電気柵修繕工事、消耗品等
鳥獣被害防止総合対策推進交付事業	533,500	大型獣わな 5 基、サル用わな 5 基
鳥獣被害防止総合対策整備交付事業	1,052,315	WM 柵(上野町 770m)
鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業	2,721,000	獣害防止事業捕獲委託費
ニホンザル等対策支援事業	989,406	駆逐用煙火 2,000 本、ホルダー 10 本
地域捕獲力強化促進事業	131,500	捕獲檻用エサ、大型捕獲檻通信費
わな猟免許取得費等補助事業	13,000	わな猟免許取得費等補助金
計	6,206,038	—

事業費の財源内訳 県(国) : 4,040,065 円

市 : 2,165,973 円

(2) 委託関係

有害動物(イノシシ・シカ・サル・アライグマ・ハクビシン)による農作物被害軽減のため、伊勢地区猟友会へ捕獲の委託を行った。

委託名	委託先	金額	着手	完了
獣害防止事業業務委託	伊勢地区猟友会	(注) 円 4,917,000	4. 4. 1	5. 3. 31

(注) 県(国) 補助として伊勢市鳥獣被害防止対策協議会から 2,721,000 円、単価上乘せ分等として市から 2,196,000 円を支払い。

(3) その他

・ 獣害パトロール員(2人)賃金等 4,916,771 円

・ 獣害パトロール携帯電話料金 12,998 円

4 鳥獣保護法関連事業

(1) 有害鳥獣捕獲許可

農林作物等に被害を与える有害鳥獣を駆除するため、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、捕獲許可事務を行った。

許可件数	延べ人員	総捕獲数
件 123	人 383	イノシシ 153、シカ 468、サル 23、イタチ 8、タヌキ 9、アナグマ 14、アライグマ 25、ハクビシン 52、カラス 14、ドバト 96 【合計 862】

(2) 鳥獣飼養許可

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、メジロの飼養許可事務を適正に実施した。

交付件数 1件

手数料 3,400円 (@3,400円×1件)

5 みえ森と緑の県民税市町交付金事業

みえ森と緑の県民税交付金を活用した施策として、暮らしに身近な森林づくり・森を育む人づくりとして年次計画のもとに森林整備を図った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町西地内ほか	松くい虫防除(地上散布)業務委託	地上散布 6.73ha	円 689,700	4. 6. 1	4. 7. 19
〃	二見保安林下刈業務委託	下刈り 1.89ha	2,313,300	4. 6. 22	4. 8. 30
東豊浜町地内ほか	東豊浜町地内ほか保安林下刈業務委託	下刈り 1.93ha	1,525,700	4. 7. 20	4. 11. 16
二見町茶屋地内ほか	松くい虫防除(樹幹注入)業務委託	薬剤樹幹注入一式	4,646,400	4. 12. 21	5. 3. 1
東大淀町地内ほか	松くい虫防除(伐倒破碎)業務委託	枯松伐倒破碎一式	964,700	4. 12. 21	5. 3. 22
二見町今一色地内	二見町今一色地内松林間伐業務委託	間伐業務一式	2,636,700	4. 12. 21	5. 3. 23
計	6件	—	12,776,500	—	—

6 森林経営管理事業

森林所有者の経営意欲の低下や所有者不明の森林の増加等が懸念される中で、森林資源の適切な管理を推進するための計画作成及び調査を行った。

また森林環境譲与税の一部を基金に積み立てた。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
上野町地内ほか	森林調査(森林境界明確化)業務委託	境界明確化 24.1ha	円 3,945,700	5. 2. 1	5. 3. 27
浦口町地内ほか	森林経営管理権集積計画作成業務	集積計画作成一式	1,760,000	5. 2. 8	5. 3. 20
計	2件	—	5,705,700	—	—

(2) 積立金

	金額
伊勢市森林環境譲与税基金積立金	円 29,038,300

○ 水産業一般事業

1 伊勢市二見健康管理増進センター維持管理

(1) 施設管理

漁村環境整備事業で整備した伊勢市二見健康管理増進センターについて、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民の生活及び健康管理の向上と明るく豊かな地域づくりの増進を図った。

- ・施設名 伊勢市二見健康管理増進センター
- ・指定管理者 二見町松下区
- ・令和4年度指定管理委託期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日
- ・指定管理委託料 184,140円

(2) その他

建物総合損害共済保険料 28,845円

○ 水産振興関係

1 漁業の実態

市内には海面の漁協として、伊勢市から明和町を範囲とする伊勢湾漁業協同組合があり、内水面には宮川漁業協同組合がある。海面では、主に採貝漁業、のり養殖業、小型機船底びき網漁業等が営まれ、内水面では、主にあゆ漁が行われている。

漁業就業者数は、年々減少傾向であり高齢化も進行している。また、地球温暖化等漁場環境も変化していることから、漁業生産量も多くの種類で減少している。このため、稚貝や稚魚の放流により水産資源の維持・増殖を図るとともに、陸上養殖等新たな漁業形態にも取り組んでいる。

(1) 組合員数

区分	漁協名	令和4年度			令和3年度			
		正組合員	准組合員	計	正組合員	准組合員	計	
海面	伊勢湾漁業協同組合 (伊勢市管内分)	東大淀	0	28	28	0	37	37
		村松	4	28	32	4	41	45
		有滝	2	41	43	3	49	52
		東豊浜	3	70	73	2	88	90
		大湊	0	15	15	0	20	20
		一色	0	24	24	0	30	30
		神社	0	6	6	0	6	6
		今一色	35	19	54	37	21	58
		江	3	6	9	3	6	9
		松下	3	37	40	5	39	44
		合計	50	274	324	54	337	391
内水面	宮川漁協	612	544	1,156	641	578	1,219	
	内伊勢市管内	156	77	233	160	90	250	

(各年度伊勢湾漁業協同組合は3月31日、宮川漁業協同組合は12月31日現在)

(2) 漁業生産状況

種 類	令和4年度	令和3年度
魚 類 等	kg 17,286	kg 29,308
水産動物類	6,409	7,962
ア サ リ	5,478	2,269
ハ マ グ リ	26,929	41,885
バ カ ガ イ	0	5,430
その他の貝類	91,728	67,498
あ お の り	3,793	7,692
く ろ の り	千枚 9,620	千枚 10,237

(各年度3月31日現在)

(3) 漁船数

地 区 名	令和4年度					令和3年度				
	3 t 未満	3 t 以上 5 t 未満	5 t 以上 10 t 未満	10 t 以上	計	3 t 未満	3 t 以上 5 t 未満	5 t 以上 10 t 未満	10 t 以上	計
東大淀	隻 9	隻 0	隻 0	隻 0	隻 9	隻 10	隻 0	隻 0	隻 0	隻 10
村 松	11	3	1	0	15	11	3	1	0	15
有 滝	15	0	4	0	19	17	0	7	0	24
東豊浜	28	1	2	0	31	30	1	2	0	33
大 湊	14	0	0	0	14	17	0	0	0	17
一 色	1	1	1	0	3	1	1	1	0	3
神 社	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1
今一色	95	5	1	1	102	106	5	2	1	114
江	11	0	0	0	11	12	0	0	0	12
松 下	19	0	0	0	19	20	0	0	0	20
計	204	10	9	1	224	225	10	13	1	249

(各年度3月31日現在)

(4) 漁業就業者の年齢構成

区 分	令和4年度			令和3年度		
	男	女	計	男	女	計
20歳未満	人 0	人 0	人 0	人 0	人 0	人 0
20～30歳未満	0	0	0	1	0	1
30～40歳未満	4	0	4	2	0	2
40～50歳未満	2	0	2	2	0	2
50～60歳未満	8	7	15	14	5	19
60～70歳未満	18	14	32	18	13	31
70歳以上	56	21	77	56	15	71
計	88	42	130	93	33	126
平均年齢	70.6	69.0	70.1	70.4	69.2	70.0

(各年度3月31日現在)

2 水産振興事業費補助金

事業名	事業主体	事業量	事業費	市補助額	成果
稚貝養殖振興事業	伊勢湾漁業協同組合	二見町今一色地先にハマグリ種苗を放流 ハマグリ 1.3 t	円 2,177,280	円 653,184	ハマグリ資源の増大と漁家経営の安定、二枚貝の水質浄化作用による環境保全に寄与した。
種苗(クルマエビ等)育成事業	〃	各種苗を松阪市東黒部町地先～二見町地先に放流 クルマエビ 500 千尾 ヒラメ 5,000 匹	760,000	182,000	クルマエビ(中間育成後)、ヒラメの種苗を放流し、資源の増大と漁家経営の安定に寄与した。
稚鮎等放流事業	宮川漁業協同組合	(放流事業) アユ 250 kg ウナギ 20 kg アマゴ 40 kg 各種苗	1,148,940	70,689	宮川流域のアユ・ウナギ・アマゴの資源増大と生産の向上に寄与した。
計	3 件	—	4,086,220	905,873	—

○ 漁港管理関係

1 漁港の施設

漁港名	種別	外郭施設		係留施設	
		4年度末現在	3年度末現在	4年度末現在	3年度末現在
(注) 大淀	第1種	m 342	m 342	m 424	m 424
村松	〃	1,403	1,403	487	487
江	〃	1,564	1,564	261	261
松下	〃	503	503	101	101
豊北	第2種	5,868	5,868	1,825	1,825
計	—	9,680	9,680	3,098	3,098

(注) 大淀漁港の管理者は明和町(昭和53年3月31日締結の協定により、伊勢市は大堀川右岸の事業に要する費用を負担し、両漁業者が共通して利用する水域施設の事業については、協議により負担割合を決定することとなっている。)

表中の施設延長は、伊勢市負担分。

2 漁港区域内樋門管理経費

(1) 樋門

ア 三重県県土整備部所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委託先	管理委託料
江川	有滝町	有滝町会	円 34,000
社護神	〃	〃	18,000
計	2樋門	—	52,000

イ 市所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委託先	管理委託料
西条第一	東豊浜町	東豊浜町西条自治会	円 27,000
浦ノ山	〃	土路区町会	18,000
墓ノ浦	〃	〃	27,000
里浦	〃	〃	18,000
イナ川	有滝町	有滝町会	18,000
亀池	村松町	村松町会	28,000
計	6樋門	—	136,000

(2) 陸こう門

異常気象等による洪水防止のため、漁港区域及び海岸保全区域内に存在する陸こうの維持管理及び操作を次のとおり委託した。

ア 市所管陸こう門操作業務委託

陸こう名	所在地	委託先	委託料
西条第1～6陸こう門	東豊浜町	東豊浜町西条自治会	円 34,020
村松第1～8陸こう門	村松町	村松町会	45,360
有滝第1～6陸こう門	有滝町	有滝町会	34,020
土路第1～5陸こう門	東豊浜町	土路区町会	28,350
東大淀第1・2陸こう門	東大淀町	東大淀町会	11,340
計	5件	—	153,090

(3) その他

樋門等管理人傷害保険料 91,440 円

3 漁港・海岸維持管理事業

伊勢市が管理する施設の修繕及び点検業務を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
有滝町 地内ほか	伊勢市漁港海岸環境 整備業務委託	漂着物除去一式	円 189,200	4. 5.20	5. 2.16

東豊浜町地内	豊北漁港西条第3陸閘門アシナガバチ巢駆除業務委託	アシナガバチ巢駆除一式	円 11,000	4. 9. 27	4. 10. 7
〃	豊北漁港管理道路清掃業務委託	清掃業務一式	99,000	4. 10. 4	4. 10. 12
東豊浜町地先	豊北漁港標識灯保守点検業務委託	標識灯点検 3基	99,000	4. 11. 24	5. 3. 10
計	4件	—	398,200	—	—

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
東豊浜町地内	豊北漁港内道路防護柵修繕工事	防護柵修繕一式	円 165,000	4. 4. 14	4. 5. 9
有滝町地先	豊北漁港有滝物揚場浮棧橋修繕工事	浮棧橋修繕一式	66,000	4. 11. 24	4. 12. 22
計	2件	—	231,000	—	—

(3) その他

オイルフェンス購入等 174,318円

4 水産物供給基盤機能保全事業

漁港施設の老朽化が著しいことから、機能保全計画に基づき施設の長寿命化を行った。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
東大淀町地先	(注1) 大淀漁港南防波堤保全工事	防波堤改修 30m	円 35,873,200 【契約額】 55,673,200 [令和3年度] 19,800,000 [令和4年度] 35,873,200	3. 12. 24	4. 7. 4
東豊浜町地内	豊北漁港土路用地護岸ほか保全工事	コンクリート被覆 52.8m 電気防食 27か所	28,947,600	4. 5. 2	4. 10. 7
東大淀町地先	(注2) 大淀漁港南防波堤保全工事	防波堤改修 81m	18,700,000 【契約額】 57,329,800 [令和4年度] 18,700,000 [令和5年度] 38,629,800	5. 3. 24	5. 9. 19
計	3件	—	83,520,800	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

(注1) 令和3年度から一部繰越

(注2) 令和5年度へ一部繰越

○ 災害復旧事業

1 農地・農業用施設災害復旧事業

令和4年7月の豪雨により被災した箇所の復旧を行い、施設の機能回復を図った。

(1) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
円座町地内	円座町地内排水路災害復旧工事	かごマット 14㎡	円 1,276,000	4.12.19	5.2.27
佐八町地内	佐八町地内排水路災害復旧工事	ふとんかご 12m	550,000	5.1.11	5.3.10
津村町地内	津村町地内農道災害復旧工事	ネット柵 12m 舗装 17㎡	453,200	5.1.19	5.3.17
計	3件	—	2,279,200	—	—

(2) 重機借上

	施行場所	金額
重機借上	上野町地内ほか 7件	円 2,978,800

○ 他課関係依頼

他課から依頼があった次の業務について、その設計及び監督を行った。

所属	施行場所	工事名	工事概要	金額
学校施設整備課	二俣4丁目地内	(注) 伊勢宮川中学校テニスコート付近雨水対策工事	水路 354m 暗渠排水管 371m 集水柵 13か所 透水性舗装 451㎡ テニスコート整備一式	円 27,167,500 【契約額】 41,827,500 [令和3年度] 14,660,000 [令和4年度] 27,167,500
〃	小俣町本町地内	小俣幼稚園樹木剪定業務委託	樹木剪定 9本	1,570,800
〃	小俣町元町地内	小俣小学校グラウンド樹木剪定業務委託	樹木剪定 15本 樹木伐採 1本 樹木枝払い 一式	2,470,600
〃	神田久志本町地内	倉田山中学校樹木剪定業務委託	樹木剪定 170m	1,446,500
計	4件	—	—	32,655,400

※合計は、各行の最上段を合算

(注) 令和3年度から一部繰越

観 光 振 興 課

○ もてなし心醸成事業

1 観光人材育成事業

(1) 案内ガイド連携事業

案内人の質の向上、情報共有及び一体感の醸成を目的とした市内観光案内ガイド団体の連絡協議会「伊勢たびナビの会」に参画し、事務局を担った。

令和4年度は、リーフレットの増刷や会員の情報共有のための会議を8回実施し、延べ46名が会議に参加した。また、伊勢たびナビの会に所属する団体の会員向けに研修を実施した。

開催日	内容	会場	参加者数
5. 3. 20	伊勢市観光振興基本計画研修会	伊勢市役所 東館 4-4 会議室	人 15

(2) 伊勢っ子育て事業

子どもたちに伊勢の魅力を知ってもらうことなどを目的に、平成27年度に開始した。令和4年度は、公募により集まった市内小学校5、6年生の伊勢っ子18人が、せんぐう館等で「伊勢を学ぶ活動」を行った。事業実施にあたっては、伊勢っ子の卒業生、皇學館大学の学生ボランティアや地域のまちづくり団体等に協力をいただいた。

開催日	内容	会場	伊勢っ子参加者数
4. 6. 18	オリエンテーション せんぐう館見学	いせシティプラザ2階 多目的ホール、せんぐう館	人 16
4. 8. 6	伊勢の歴史や史跡を知る	いせシティプラザ2階 多目的ホール、倭姫宮	14
4. 10. 23	二見のご当地体験 塩ようかん型抜き	二見公民館 第1会議室・第2会議室、御塩殿神社	14
4. 11. 26	振り返りクイズ大会等 修了式	五十鈴塾 右王舎、内宮	16

(3) 観光振興研修事業

観光関連事業者を対象に、地域共通となる課題をテーマにした研修会等を開催した。

開催日	内容	会場	参加者数
4. 7. 11	おもてなし・ユニバーサルツーリズム研修会	伊勢市生涯学習センター いせトピア3階 研修室1・研修室2	人 24 (11)
4. 9. 13	地域の観光人材のインバウンド対応能力強化研修	伊勢市生涯学習センター いせトピア3階 研修室1・研修室2	20

(注) () は参加者のうちオンラインによる参加者数

○ 観光一般事業

1 案内所管理運営経費

(1) 観光案内所及び伊勢市駅手荷物預かり所等の運営

各観光案内所、伊勢市駅手荷物預かり所等における運営管理業務を、(公社)伊勢市観光協会に委託して実施した。また、リモート案内システムを導入し、12月1日から観光案内所の名称を一部変更するとともに、宇治山田駅、宇治浦田、外宮前、二見浦ではリモート観光案内を開始した。

委託期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

委託金額：35,035,856円

<外国人観光案内所認定状況> (注)

カテゴリー2：伊勢市駅観光案内所 カテゴリー1：二見浦観光案内所

(注) 外国人観光案内所：JNTO(日本政府観光局)認定の外国人対応可能な観光案内所。カテゴリー2は英語対応可能なスタッフが常駐し、広域の案内を提供できることが条件。カテゴリー1は常駐でなくても何らかの方法で英語対応可能で、地域の案内を提供できることが条件。

ア 観光案内所の利用状況 (注) (単位：件)

(注) 年末年始に実施した深夜営業時間内の観光案内件数を含む

伊勢市駅観光案内所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
窓口案内	3,013	4,039	3,066	3,398	3,591	3,363	2,203	2,751	3,055	3,885	4,928	6,647	43,939
うち外国人	18	22	24	17	15	9	17	43	109	90	42	147	553

宇治山田駅観光案内所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
窓口案内	429	908	564	552	629	548	882	965	-	-	-	-	5,477
リモート案内	-	-	-	-	-	-	-	-	46	24	13	27	110
うち外国人	0	12	3	0	8	2	6	6	0	4	0	3	44

宇治浦田観光案内所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
窓口案内	1,159	1,344	1,047	1,063	1,478	1,344	2,549	1,484	-	-	-	-	11,468
リモート案内	-	-	-	-	-	-	-	-	49	66	59	221	395
うち外国人	0	1	8	3	2	1	12	9	0	0	0	0	36

二見浦観光案内所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
窓口案内	856	1,389	930	888	1,222	1,136	1,609	1,729	1,574	1,687	1,730	2,397	17,147
リモート案内	-	-	-	-	-	-	-	-	7	7	3	4	21
うち外国人	2	7	8	4	15	2	21	31	35	47	29	77	278

外宮前観光サービスセンター（旧外宮前観光案内所）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
窓口案内	3,284	4,465	3,070	2,641	3,103	3,711	4,815	5,287	-	-	-	-	30,376
リモート案内	-	-	-	-	-	-	-	-	26	14	24	31	95
うち外国人	11	16	19	16	16	5	30	53	3	2	0	0	171

その他

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
チャット	-	-	-	-	-	-	-	-	16	14	19	19	68

イ 伊勢市駅手荷物預かり所の取扱い個数（単位：個）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
荷物預かり	837	1,939	750	967	1,555	2,124	2,769	5,053	2,682	2,210	3,138	6,298	30,322
宿泊施設配送	431	714	470	484	637	785	1,002	1,136	746	589	759	1,325	9,078
計	1,268	2,653	1,220	1,451	2,192	2,909	3,771	6,189	3,428	2,799	3,897	7,623	39,400

(2) 清掃業務

施設の衛生環境を保つため、年2回の定期清掃とトイレ、喫煙所の日次清掃を行った。

委託期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

委託金額：2,948,000円

定期清掃か所：市内観光案内所4か所、伊勢市駅手荷物預かり所

日次清掃か所：トイレ…宇治浦田観光案内所、伊勢市駅手荷物預かり所

喫煙所…宇治浦田街路広場、宇治山田駅前広場

(3) 車いすの貸出

高齢者や身体の不自由な観光客が安心して市内観光できるよう、伊勢市駅観光案内所、伊勢市駅手荷物預かり所、宇治浦田観光案内所で、車いすの無料貸出を行った。

車いすの貸出状況（単位：台）

	伊勢市駅(注)	宇治浦田	手荷物預かり所(注)
保有台数	3	6	3
貸出合計台数	156	559	34

(注) 伊勢市駅は11月末で貸出終了、手荷物預かり所は12月から貸出開始

(4) ベビーカーの貸出

乳幼児連れの観光客が手軽に市内観光を楽しめるよう、市内各観光案内所、伊勢市駅手荷物預かり所で、ベビーカーの無料貸出を行った。

ベビーカーの貸出状況（単位：台）

	伊勢市駅 (注)	宇治山田駅 (注)	宇治浦田 (注)	二見浦	外宮前	手荷物預かり所(注)
保有台数	1	1	2	1	1	1
貸出合計台数	31	6	57	0	10	3

(注) 伊勢市駅、宇治山田駅、宇治浦田は11月末で貸出終了

手荷物預かり所は12月から貸出開始

(5) レンタサイクルの貸出

(公社) 伊勢市観光協会が実施するレンタサイクルの貸出を宇治山田駅観光案内所、外宮前観光サービスセンター（旧外宮前観光案内所）、伊勢市駅手荷物預かり所及び五十鈴川駅前で行った。

レンタサイクルの利用状況（単位：台）

	宇治山田駅(注)	外宮前	手荷物預かり所	五十鈴川駅前
保有台数	3	13	25	12
貸出合計台数	72	1,089	3,052	185

(注) 宇治山田駅は11月末で貸出終了

(6) 施設等維持管理

外宮前観光サービスセンター（旧外宮前観光案内所）及び伊勢市駅観光案内所において、受入環境向上のための工事を行った。

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
本 地 町 内	観振工第4号 外宮前観光案内 所パーテーション 設置工事	設置工事一式	円 365,860	4.10.24	4.12.15
〃	観振工第6号 外宮前観光案内 所看板撤去工事	撤去工事一式	138,600	4.11.18	4.12.19
吹上1丁目 地 内	観振工第7号 伊勢市駅観光案 内所サイン工事	サインの設置工事一式	235,400	4.12. 2	4.12.28
計	3件	—	739,860	—	—

2 観光協会負担金

(公社)伊勢市観光協会は同業者組合の枠を超え、広く市内観光産業活性化のために活動している。また、公益社団法人という位置付けから、公平性を保ちつつ行政よりも柔軟な動きが可能であり、変化の激しい観光分野の事業実施に不可欠な存在となっている。このため、令和4年4月1日に(公社)伊勢市観光協会との覚書を更新した。覚書の内容は、財政基盤安定化を目的とした事務局人件費の一部負担(負担率35%)、市との協働事業の事務費負担(過去の経過と自主性を考慮して決定した負担率)等となっている。令和4年度は、この覚書の内容に基づき支援した。この覚書は令和6年度までを対象期間としているため、令和7年度以降の市と(公社)伊勢市観光協会の関係及び負担のあり方について協議を進めた。

3 広域連携事業

(1) 伊勢志摩国立公園の振興

(一財)伊勢志摩国立公園協会、伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会、伊勢志摩国立公園地域協議会、及び国立公園関係都市協議会に参画し、広域での連携を強化した。

(2) 伊勢志摩国立公園ステップアッププログラム2025

平成28年7月に伊勢志摩国立公園を含む全国8つの国立公園が、環境省の「国立公園満喫プロジェクト」における先導的モデルに選ばれ、世界水準の「ナショナルパーク化」を目指すこととなった。これに伴い、平成28年12月に環境省、三重県等とともに「伊勢志摩国立公園ステップアッププログラム2020」を策定した。令和3年度から「伊勢志摩国立公園ステップアッププログラム2025」として改訂し、令和4年度は農林水産課等とも連携して伊勢志摩国立公園管内の景観・環境等の整備と維持管理を進めた。

また、エコツーリズムを核とした地域づくりを目的として、平成30年2月27日付で設立された伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会に、設立準備段階から参画し、下部組織として設けられた4つの部会(マーケティング・事業・SDGs・人材育成)においても、マーケティング及び事業の2部会に参画するなど、広域連携の取組を進めている。

(3) サイクルトレイン

近畿日本鉄道株式会社が令和4年4月16日から令和4年4月24日まで実施したサイクルトレインの運行に合わせ、5市町の首長等による合同利用体験に参画した。

参画市町：松阪市、明和町、伊勢市、鳥羽市、志摩市

実施日：令和4年4月16日

4 観光DXの推進

スマートシティ伊勢推進協議会内に令和4年7月15日に設置した商工・観光部会と協働し、参画団体や協力企業等と連携して市内の周遊促進・滞在時間の延伸と満足度の向上を目的に利用者の状況に合わせたお店の紹介を行うLINE公式アカウント「Desika:伊勢でしか」を活用した観光DX実証事業に取り組んだ。

D e s i k a : 伊勢でしか実証事業

実証事業開始日：令和4年7月22日

掲載施設数：74施設

友だち追加数：8,707人

○ 観光客受入推進事業

1 観光客受入基盤整備事業

(1) 市内周遊促進基盤整備事業

朝熊山へ観光に訪れてもらうため、三重交通（株）と協働で参宮バスを運行した。観光地としての朝熊山の認知度を高め、山上への唯一の公共交通機関である参宮バスの利用者の増加につなげるため、令和4年度は参宮バスのPR用の画像や動画を作成した。

<参宮バス利用状況（単位：人）>

発地	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
近鉄 五十鈴川駅	169	329	196	176	211	341	465	333	408	470	334	307	3,739
山上広苑	328	584	239	225	272	390	373	495	568	885	483	412	5,254
計	497	913	435	401	483	731	838	828	976	1,355	817	719	8,993

(2) 二見浦海岸公衆トイレ清掃業務委託

トイレの衛生環境を適切に保つため、日次清掃を行った。

委託期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

委託金額：1,320,000円

2 観光客受入環境創出事業

(1) 共同パンフレット作成事業

伊勢を訪れる観光客の市内周遊を促すため、到着後に市内で使用する各種観光マップやパンフレットを、(公社)伊勢市観光協会と共同で作成し、観光案内所等で配布した。

令和4年度は「二見浦マップ」「ランチガイド」の情報更新・増刷を行った。

(2) (公社)伊勢市観光協会との協働事業

次の事業を(公社)伊勢市観光協会と協働で実施または実施に向け協議を行った。

ア 観光祈願祭・日本観光交流伊勢会議

例年、国内の観光関係者が伊勢に集い、観光の意義と重要性を認識し、健全な観光を推進するために交流等を実施してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小しての開催となった。

イ 秋の行事

(ア) 「御幣鯛」漁船団の受入

毎年10月12日、伊勢神宮の神嘗祭に合わせて愛知県南知多町の篠島より神社港に

訪れる関係者の方々を花火で迎え入れ、花束と記念品の授与を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

(イ) 観月茶会

例年、伊勢の四季を感じるイベントの一つとして、神宮観月会を奉賛し、観月茶会を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

ウ 越年行事

例年、全国から訪れる伊勢神宮年越し参り等のお客様へ振る舞い餅等のおもてなしを行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により奉納行事のみの活動となった。

エ ナイトタイムエコノミー推進事業

(公社)伊勢市観光協会との協働事業である「伊勢の食文化調査研究事業」で作成した「夜の飲食マップ」の活用や既存のランディングページの修正等を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止した。

オ マスコットキャラクター事業

例年、(公社)伊勢市観光協会のマスコットキャラクターである「伊勢まいりんくん」の着ぐるみを活用し、幅広い客層に対するPR活動をしているが、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等が中止となり、出演回数が減少した。

カ 開花情報発信事業

市内の桜名所の開花情報を、(公社)伊勢市観光協会のホームページやSNS等で情報発信した。

(3) 宮川堤公園観光客受入環境の整備

日本さくら名所100選に選定されている宮川堤の桜の見頃に合わせライトアップを行った。また、会場案内看板と仮設トイレの設置、交通警察員の配置等を行い、受入環境を整えた。
委託期間：令和4年3月4日～令和4年4月30日
委託金額：3,480,422円【債務負担行為】

(4) 伊勢市駅前広場等へのイルミネーション設置

当市の玄関口であるJR伊勢市駅前広場、近鉄宇治山田駅前広場及び市道宮後1丁目1号線の樹木等にLEDイルミネーション装飾を設置し、滞在時間の延伸、駅前の賑わいの創出のための光の演出を行った。

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
吹上1丁目 地内ほか	(注) 観振工第3号 伊勢市駅前広場 ほかイルミネーション設置工事	電気設備設置工一式 電気設備撤去工一式 イルミネーション装飾工一式 イルミネーション撤去工一式	円 1,922,800	4. 11. 4	5. 3. 6

(注) 維持課施行

3 二見ビーチ活性化事業

(1) 二見ビーチ活性化運營業務

海岸周辺地域を観光資源として活用し、年間を通じて継続的に集客できるイベント等を(公社)伊勢市観光協会等と連携して開催し、二見地域への観光誘客と地域の活性化を図る取組を行った。

委託期間：令和4年4月26日～令和5年3月15日

委託金額：6,437,200円

ア 海水浴場管理運営

県による宇治山田港(海岸)侵食対策工事(第6突堤)施工のため、開設を中止した。

イ 二見周遊促進事業

(ア) 二見エリアにおける「縁や絆を深める」をコンセプトに絆体験コンテンツの開発を行い、OTA(オンライン・トラベル・エージェント)と連携して販売、事業PR及び利用促進のためのクーポン発行、ポスター、チラシの作成や配布を行った。

絆プラン体験者者数：9,966人

(イ) チャージスポット(持ち運び可能なスマートフォン充電器のレンタルサービス)を活用した周遊ラリーを外宮エリア、内宮エリア、二見浦エリアで実施した。

事業実施期間：令和4年12月15日～令和5年2月28日

チャージスポット利用件数：893件

(ウ) 観光庁補助金「看板商品創出事業」を活用して、二見と伊勢神宮の文化を活かした参拝の習わしに基づくお伊勢参りをコンセプトにしたコンテンツを造成し、モニタツアーを実施した。

応募者数：259組(518名)

○ 安全安心な観光地づくり推進事業

1 安全安心な観光地づくり推進事業

(1) 観光アドバイザー派遣事業

新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ地域の交流を活性化させ、観光地における課題解決と魅力向上のため、多様な観光課題の分野・趣旨に応じたアドバイザーを招聘し説明会を開催した。

開催日	内容	対象	アドバイザー
4.12.9	視覚障がい者歩行支援システムを活用したシステムの紹介・助言	視覚障がい者団体	株式会社コンピューターサイエンス研究所
5.3.22	観光庁が策定する「宿泊業の高付加価値化のための経営ガイドライン」の周知、登録促進	宿泊事業者等	観光庁観光産業課専門官

(2) 観光地感染防止対策事業

安心して訪れ、働き、暮らすことができる観光地の環境創出を目的に、(公社)伊勢市観光協会と協働で、店舗利用者に限らず観光客が利用できる消毒液スタンドを設置した。また、夏季のマスク着用による熱中症対策としてミスト噴霧器を設置した。

ア 熱中症対策設備(ミスト噴霧器)設置

設置期間：令和4年7月21日～令和4年9月15日

設置場所：JR伊勢市駅前広場及び外宮参道線(外宮前広場)

イ 観光者向け消毒液スタンド設置

(公社)伊勢市観光協会による設置又は(公社)伊勢市観光協会と管理協定を締結した協力店舗への貸与により設置を行った。

設置か所数(単位：台)

内宮周辺	外宮周辺	二見周辺	河崎周辺	その他	合計
25	25	8	5	3	66

イベントへの消毒液スタンドの貸出

貸出回数：2回

貸出台数：4台

(3) 観光地等混雑緩和事業

非接触型受入環境の一環として、(公社)伊勢市観光協会と協働で、観光地の混雑情報及び観光情報を一体的に特集したデジタルサイネージを新たに設置し、密集を避けた分散型観光の促進を図った。また、(公社)伊勢市観光協会のホームページ内に年末年始の観光地の混雑緩和を目的とした特集ページを作成し、周知を行った。

デジタルサイネージ設置場所：5か所

(伊勢市駅構内、伊勢市駅手荷物預かり所、宇治山田駅観光案内所、宇治浦田観光案内所、二見浦観光案内所)

(4) 観光地等混雑状況配信事業

観光客等が混雑を避けて安全安心かつ快適に観光するための情報提供を目的に、令和2年度から人流データから混雑状況の可視化と混雑状況予測を行うためのシステムを導入した。

令和4年度はカメラ清掃等のメンテナンスを含めた運用保守管理業務を実施した。

委託期間：令和3年4月1日～令和5年3月31日

委託金額：9,001,344円【債務負担行為】(令和4年度分4,500,672円)

(5) 日英併記案内整備工事

観光客のまち歩きの実便性向上や、伊勢志摩国立公園を観光資源として活用を促進することを目的に近畿自然歩道沿いの観光スポットや朝熊山登山口等に至るルート及び案内板周辺の地域資源を分かりやすく表示する日本語と英語を併記した案内看板を整備した。

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
楠 部 町 地 内	(注) 観振工第2号 多言語案内サイン 整備工事	案内サイン整備 1か所	円 1,265,000	4. 9. 26	4. 12. 12

(注) 都市計画課施行

(6) 観光地における観光危機管理

内宮周辺をモデル地区とし、観光危機管理の視点から観光客を安全安心に受け入れる対策として、自然災害や感染症等に対する課題への解決に地域と連携して取り組んだ。

ア 事業継続力強化計画策定セミナーの開催

開 催 日	内 容	会 場	参加者数
4. 11. 15	「事業継続力強化計画」の概要及び作成方法について	宇治公民館	人 8 (3)
4. 11. 29	「事業継続力強化計画」の作成内容確認	宇治公民館	7 (4)
4. 12. 13	事業継続につながる取組の具体策について	宇治公民館	6 (2)

(注) () は参加者のうちオンラインによる参加者数

イ 地域内の安全安心活動

年末年始の雑踏対策や内宮エリアの利活用や整備に関する地域内の要望内容の整理を行った。

2 バリアフリー観光推進事業

高齢化が進み人口が減少していく中、高齢者や身体の不自由な方を含む誰もが観光旅行を楽しむことができる体制を整え、観光客数を増加させることを目的に、平成23年度から受入環境向上のための取組を行っている。

(1) 伊勢おもてなしヘルパー事業

高齢者や身体の不自由な方が、内宮を安心して訪れることができる環境を整えるため、平成27年5月に関係団体(注)で「伊勢おもてなしヘルパー推進会議」を設立し、平成29年2月にサービス(伊勢神宮内宮での車いす利用者の参拝サポート)の提供を開始した。

令和4年度はおもてなしヘルパーの2期生募集を行い、35名を伊勢おもてなしヘルパーとして認定した。

令和4年度おもてなしヘルパー活動実績

利用件数：68件

対応ヘルパー延べ人数：153人

(注) 関係団体：(公社)伊勢市観光協会、伊勢商工会議所、皇學館大学、伊勢おほらい町会議、特定非営利活動法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンター、伊勢市(順不同)

(2) バリアフリー観光情報発信事業

ア ウェブサイト事業

外宮エリア、内宮エリアの施設を対象として、バリアフリーに関する施設の現地調査を実施するとともに、地域内店舗からのバリアフリーに関する相談に対してアドバイスをを行った。

調査回数：外宮エリア5回・内宮エリア6回

イ 「市営駐車場車椅子利用者向け動画作成」関連事業

市営宇治駐車場から内宮まで車いす利用者が安全に通行できるルートを紹介する動画へのアドバイスをを行った。

(3) 観光バリアフリー支援調査事業

障がい当事者のうち特に視覚障がい者を対象として、初めて伊勢市を訪れた際に「顔を上げて歩ける街」を実現させるため、必要な要素を調査した。また、一層のバリアフリー観光の推進に向けた資源としての情報を蓄積することを目的として、障がい当事者とともにスマートフォン用の歩行者支援システムアプリを用いたまち歩きの実証実験を実施した。

(4) 共生社会バリアフリーシンポジウムへの参画

東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機とした共生社会の実現に向けた各地の取組を共有・発信するとともに、バリアフリー施策の現状と今後について意見を交わし、誰もが暮らしやすい共生社会の実現に向けた手掛かりを探るために開催された「共生社会バリアフリーシンポジウム in 伊勢」に参画した。

開催日 令和4年9月4日

開催場所 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢

参加者数 478名（会場参加323名、オンライン参加155名）

主催者 共生社会ホストタウン連絡協議会（伊勢市、国土交通省、交通エコロジー・モビリティ財団 等）

3 観光地域力の検証事業

(1) 伊勢市観光振興基本計画に基づく取組の検証

令和4年3月に策定した伊勢市観光振興基本計画に基づく取組の検証及び計画の見直しを行った。

日程	会議名等	主な内容
5. 3. 27	令和4年度 伊勢市観光振興基本計画推進委員会	・令和4年度の取組の検証について ・伊勢市観光振興基本計画の見直しについて

(2) 伊勢市観光客実態調査

観光客の旅行目的、滞在種別（日帰り・宿泊）、来訪手段、旅行費用、満足度等、当市を訪れる観光客の行動実態を明らかにするため、観光庁が定める「観光入込客統計に関する共通基準」に沿った形で、伊勢を訪れた観光客に対面式の聞き取り調査を実施した。

調査地点：外宮周辺、内宮周辺、二見、河崎の市内観光地域4か所

調査実施日・サンプル数

(1期) 令和4年4月2日、3日	427 サンプル
(2期) 令和4年7月2日、3日、30日、31日	688 サンプル
(3期) 令和4年10月1日、2日	313 サンプル
(4期) 令和4年12月3日、4日	329 サンプル

委託期間：令和3年12月22日～令和5年3月31日

委託金額：3,518,900円【債務負担行為】

○ 旅客誘致宣伝事業

1 スポーツ・MICE誘致推進事業

伊勢市集大会・スポーツ合宿誘致補助金事業として市内での各種スポーツ大会や合宿、会議等を誘致するため、市内宿泊者数に応じて補助金を交付した。

交付団体(延べ)：78団体

補助金額：14,976,000円

宿泊者数(延べ)：18,517人

○ 観光行事振興事業

1 第70回伊勢神宮奉納全国花火大会

開催に向けて検討を続けてきたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の先行きが見通せない状況にあり、安全安心な開催が厳しい状況であることを考慮し、開催中止とすることを令和4年4月22日に伊勢神宮奉納全国花火大会委員会で決定した。

○ 民俗伝統行事継承事業

1 民俗伝統行事継承事業

(1) 民俗伝統行事継承事業負担金

伊勢御遷宮委員会が、国が選択する記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財であり、市指定無形民俗文化財でもある「お木曳行事」、「お白石持行事」の保存継承及び神宮を核とした伊勢の情報発信を行うため、次期神宮式年遷宮に向けた事業計画に基づき以下の事業を実施した。

次世代継承事業：民俗行事の記録整備、小冊子作成等

PR事業：ホームページ等内容充実化による情報発信等

(2) 初穂曳実施負担金

伊勢神宮奉仕会主催の初穂曳(奉納行事)に参画した。令和4年度においては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小して実施した。

開催日：令和4年10月15日、16日

内容：外宮領奉曳（規模縮小）・奉納、内宮領奉納

(3) 伊勢市民俗伝統行事継承事業基金積立金

伊勢市民俗伝統行事継承事業基金条例に基づき、「お木曳行事」、「お白石持行事」の円滑な実施と保存継承等を目的に、伊勢商工会議所、(公社)伊勢市観光協会とともに基金の積み立てを行った。

○ 観光交通対策管理事業（観光交通対策特別会計）

1 宇治浦田街路広場公衆トイレ清掃業務委託【交通政策課から執行委任】

トイレの衛生環境を適切に保つため、日次清掃を行った。

清掃実施期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

委託金額：5,170,000円

○ 新型コロナウイルス感染症防止対策事業

1 リモート案内システム等導入事業

「非接触（リモート）」型観光案内サービスを観光案内所4か所に導入し、リモート観光案内と対面案内の拠点整備などを実施した。

(1) 伊勢市リモート案内システム導入事業業務委託

新たな生活様式における旅行ニーズへ対応する「非接触（リモート）」型観光案内システムの導入を行った。

委託実施期間：令和4年9月9日～令和5年3月31日

委託金額：11,325,160円

(2) 工事関係

リモート観光案内システム導入に伴い、伊勢市駅観光案内所を観光案内の拠点とし、あわせてリモート観光の円滑な利用を促進するための関連工事を行った。

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
吹上1丁目地内	(注) 観振工第1号 伊勢市駅観光案内所等改修工事	建築改修一式	円 3,003,000	4. 9. 30	4. 11. 28
本地町内	観振工第5号 外宮前観光案内所看板補修シート設置工事	設置工事一式	297,000	4. 11. 18	4. 12. 16
計	2件	—	3,300,000	—	—

(注) 営繕課施行

○ 観光庁補助事業

1 地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業

宿泊施設を中心とした地域全体の高付加価値化を図るため、観光庁が実施する「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」の活用に向けて取り組んだ。制度の周知や参画事業者を募るために説明会を開催するとともに、取組方針を定める地域計画（案）を作成した。

開催日	内容	会場	参加者数
5. 1. 24	地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」事業者向け説明会	伊勢商工会議所 5階 大ホール	人 65 (31)

(注) () は参加者のうちオンラインによる参加者数

観 光 誘 客 課

○ 旅客誘致宣伝事業

1 ターゲット戦略推進事業

(1) 公共交通機関タイアップ誘客キャンペーンの推進

伊勢への観光客の来客数上位3位である中京圏・関西圏・首都圏からの観光客のリピーター化を図り、また、公共交通機関の利用を促進するため、公共交通機関とタイアップした誘客キャンペーンを実施した。

ア JR東海「市内周遊促進対策」キャンペーン事業

伊勢への観光客の来客数第3位の地域である首都圏を中心に、第1位の中京圏からの誘客も含め、訪れる観光客のリピーター化を図るため、また、公共交通機関の利用を促進するため、東海旅客鉄道（株）と名古屋鉄道（株）とタイアップした誘客キャンペーンを実施した。

密を回避しての伊勢旅をテーマとするビジュアルのポスター等を作成し、駅貼りポスター、新幹線車内広告、東京駅八重洲口でのデジタルサイネージ等の展開を実施し、最も長く掲出できた場所では、上期は令和4年4月1日から9月30日まで、下期は令和4年10月1日から令和5年3月31日まで掲出した。

委託先：（株）ジェイアール東海エージェンシー

委託金額：（上期）6,075,883円【債務負担行為】

（下期）7,866,683円

委託期間：（上期）令和4年3月1日～令和4年9月30日

（下期）令和4年7月8日～令和5年3月31日

イ 伊勢ポスターキャンペーン事業

関西私鉄等の公共交通機関とタイアップし、グラフィックデザイナー連携ポスター等作成事業で作成したポスター及びデジタルサイネージを掲出した。

委託先：（株）アド近鉄伊勢支店

委託金額：2,788,500円

委託期間：令和4年5月23日～令和4年10月3日

	掲出場所	媒体	掲出期間
1	阪神 神戸三宮駅	ポスター	4. 9. 5～ 4. 9. 18
2	近鉄 主要10駅	デジタルサイネージ	4. 9. 5～ 4. 10. 2
3	東京国際空港	デジタルサイネージ	4. 9. 1～ 4. 9. 30
4	中部国際空港	デジタルサイネージ	4. 9. 1～ 4. 9. 30

(2) グラフィックデザイナー連携ポスター等作成事業

伊勢ポスターキャンペーン事業にて露出を図るため、日本を代表するグラフィックデザイナーであり、外務省の戦略的対外発信拠点「ジャパン・ハウス」の総合プロデューサーを務めた原研哉氏を起用したポスター及びデジタルサイネージを作成した。

委託先：(株)日本デザインセンター

委託金額：2,798,125円

委託期間：令和4年5月30日～令和4年10月31日

(3) ラジオ放送等を活用した情報発信事業

重点取組遠隔地である北海道からの誘客を図るため、(株)エフエム北海道とタイアップし、ラジオ番組及び放送内のスポットCMにおいて、伊勢の観光情報を北海道地域へ放送した。また、番組ホームページ及びSNSを活用した伊勢の情報発信やラジオ番組リスナーを対象としたツアー、札幌市内での観光物産展を開催した。

委託先：(株)エフエム北海道

委託金額：3,993,000円

委託期間：令和4年8月4日～令和5年1月31日

- ・ラジオ番組放送日：令和4年10月6日～令和4年12月29日の毎週木曜日
- ・リスナーツアー実施日：令和4年11月25日～27日（参加者数28名）
- ・観光物産展実施日：令和4年12月9日～11日
- ・スポットCM放送日：令和5年1月11日～31日で計20回

(4) クリエイター連携PR「伊勢市新ブランド構想」事業

(株)山本寛齋事務所と伊勢市における官民合体による、本市への観光誘客に資する『ものづくり力の強化』や『国内外に向けたファンづくり』等を見据えた「伊勢市新ブランド構想」の実現を図るため、伊勢和紙布の開発を行った。また、伊勢和紙布のブランド化や魅力の発信につなげるため、次年度に向けた企画も立案した。

委託先：(株)山本寛齋事務所

委託金額：2,674,800円

委託期間：令和4年7月14日～令和5年3月23日

(5) クリエイターズ・ワーケーション促進事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた宿泊事業者への支援と国内在住のクリエイターが創作活動を行う機会の創出を目的に、文化・芸術分野のプロのクリエイターによる、滞在中の創作活動を通じた観光PRを令和2年度に実施した。しかし、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言等の発出により、受け入れが完了できなかったため、令和3年度に事業を繰り越したが、前年度同様の状況であったため、受け入れ完了を目指し、令和4年度も事業を継続した。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなり、本来の仕事が通常に戻りつつある中で、参加できなかったクリエイターもいたため、その方へは伊勢との関

わりの継続や今後の誘致も見据え、伊勢の名産品を送付した。

<参加決定人数 92組 132名>

- ・令和2年度参加者数 40組 54名
- ・令和3年度参加者数 8組 11名
- ・令和4年度参加者数 40組 50名
- ・参加辞退者 8組 17名

※本来の仕事が通常に戻りつつある中で、参加予定グループ内で同一日程の参加が難しいケース等があったため、当初参加決定の組数との差異が生じた。

また、伊勢市内での活動の場を求める参加クリエイターによる浪曲公演や展示会、落語会、コンサートなどを実施するとともに、文化政策課がアクティブ・アート推進事業として、滞在したクリエイターと連携し、作品展示会や演奏会等を行う「伊勢市クリエイターズエキシビション 2022」を実施した。

委託先：(公社)伊勢市観光協会

委託金額：10,000,000円

精算金額：8,761,918円

委託期間：令和4年4月8日～令和5年3月31日

(6) 着地型旅行商品造成販売事業

リピーターの確保や市内滞在時間の延伸、観光消費額を高めるため、多様化する観光ニーズや新しい生活様式にも対応した伊勢の着地型旅行商品の開発と磨き上げを行い、旅行会社やコンビニ端末、OTA(オンライン・トラベル・エージェント)を活用した販売促進や、首都圏・中京圏・関西圏・中四国・九州の旅行会社への企画提案と流通促進を行った。

さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、旅行需要が少ない時間帯や平日へ分散させるJR東海のキャンペーン「ずらし旅」と連動した、地元バスガイドの案内による早朝参拝等の旅行商品の造成・販売等を行った。

委託先：三重交通(株)観光販売システム営業部

委託金額：3,128,400円【債務負担行為】

委託期間：令和4年2月28日～令和5年3月31日

(7) ホームページを活用した情報発信

(公社)伊勢市観光協会と共同運営するホームページで、観光情報の発信を行った。

また、検索エンジンの検索順位をあげるための取組であるSEO(Search Engine Optimization)対策として、SNSの運用や特集ページの制作、インフルエンサーによるYouTube配信等を行い、ホームページへのアクセス数が大きく上昇した。

年度	アクセス数 (携帯電話含む)	稼働日数	一日平均
30	241,366	365	661.3

元	385,763	366	1,054.0
2	335,625	365	919.5
3	491,095	365	1,345.5
4	1,060,966	365	2,906.8

(8) 観光パンフレットによる情報発信及び観光PR

(公社)伊勢市観光協会と観光パンフレットを共同作成し、市内観光案内所や旅行会社等での配布、個人の電話・メール等による送付依頼対応等、用途に応じて効果的に配布した。

また、例年通りの規模での実施ではないものの、新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなったため、大きな発信力が期待される首都圏、リピーターが期待される愛知県や大阪府、重点取組遠隔地である北海道にて、観光パンフレットの配布や物産展とのコラボレーションによる観光PRを行った。

<観光PR活動実施状況>

	実施内容（及び実施場所）	実施日	備考
1	第2回三重県のいいもの・うまいものフェア (大阪府大阪市)	4. 6. 1~4. 6. 7	(公社)伊勢志摩観光コンベンション機構、鳥羽市、志摩市、伊勢市共同出展
2	近鉄グループ「さあはじめよう、」キャンペーン沿線地域連携PR (大阪府大阪市)	4. 7. 7	鳥羽市、志摩市、伊勢市共同出展
3	第8回近鉄エリアキャンペーン「MEET SMILE! 伊勢志摩」オープニングイベント (大阪府大阪市)	4. 9. 10	(公社)伊勢志摩観光コンベンション機構、鳥羽市、志摩市、南伊勢町、伊勢市共同出展
4	トラベルソリューション展2022 (東京都江東区)	4. 9. 22~4. 9. 23	日本電気(株)出展
5	ツーリズムEXPOジャパン2022 (東京都江東区)	4. 9. 22~4. 9. 25	三重県、(公社)伊勢志摩観光コンベンション機構、鳥羽市、志摩市、南伊勢町、近畿日本鉄道(株)、伊勢市共同出展
6	伊勢市農産物PRイベント (三重県伊勢市)	4. 10. 15~4. 10. 17	農林水産課事業
7	期間限定店舗「ISE SHOP」たまプラーザテラス (神奈川県横浜市)	4. 10. 22~4. 10. 30	商工労政課事業 (公社)伊勢市観光協会受託
8	フィールドスタイルジャンボリー2022 (愛知県常滑市)	4. 11. 19~4. 11. 20	伊勢鳥羽志摩観光連絡協議会出展
9	スパクル!! presents Visit伊勢観光物産展(北海道札幌市)	4. 12. 9~4. 12. 11	当課委託事業((株)エフエム北海道受託)

10	伊勢志摩観光物産展 (東京都新宿区)	5. 1. 25～5. 1. 31	(公社)伊勢志摩観光コンベンション機構、鳥羽市、志摩市、南伊勢町、伊勢市共同出展
11	伊勢市農産物PRイベント (三重県伊勢市)	5. 2. 11～5. 2. 12	農林水産課事業
12	伊勢の観光物産展 i n 東京大神宮 (東京都千代田区)	5. 3. 11～5. 3. 12	(公社)伊勢市観光協会主催

(9) 「常若婚」にかかる事業

日本航空(株)及び三重県と連携して平成28年度に造成した旅行商品「常若婚」について、公式ホームページを(公社)伊勢市観光協会と共同で運営した。なお、旅行商品については、造成以降関係者の協力を仰ぎながらPRやセールス活動に尽力したが、販売が伸び悩んでいる状況が続いており、日本航空(株)及び三重県と協議の上、令和4年6月14日に旅行商品の販売及び公式ホームページの運営を終了し、関係者に通知した。また、旅行商品の販売終了に伴い、「常若婚」事業を通じて地域産業と観光事業の活性化を図る事を目的とした「伊勢TOKOWAKA協議会」についても令和5年3月29日に解散した。

(10) 伊勢市スマートシティ推進フェローの委嘱

市の観光誘客施策における具体的な課題に関し、高度な知識や経験等を有する者から個別に助言等を受けるため、映像等デジタルメディアを活用した外国人観光客誘致等のための伊勢市スマートシティ推進フェローを次の者に委嘱した。

- ・伊勢市スマートシティ推進フェロー

渡邊賢一氏(株)XPJP、令和4年4月1日付け委嘱)

(11) スマートシティ伊勢推進協議会 商工・観光部会による実証事業

デジタル技術を活用し、来訪者の周遊促進・滞在時間の延伸と満足度向上を図るため、スマートシティ伊勢推進協議会商工・観光部会を設置し、協力企業等である日本電気(株)、ORIGINAL Inc.、(一社)日本地域国際化推進機構が中心となり、LINEを活用した観光DX実証事業を実施した。

2 広域連携事業

近隣市町及び県内外の関係機関との連携により広域での受け入れ態勢を構築し、伊勢への集客に取り組んだ。

- ・伊勢熊野観光連絡協議会・・・(一社)日本自動車連盟と連携した情報発信の実施等
- ・(公社)三重県観光連盟・・・ホームページ「観光三重」による情報発信、季刊誌発行等
- ・伊勢鳥羽志摩観光連絡協議会・・・若者目線の観光パンフレットの作成等
- ・(公社)日本観光振興協会・・・国や自治体、関係団体や幅広い産業との連携による事業
- ・歴史街道推進協議会・・・近畿地方の歴史街道を中心とした観光情報発信等
- ・風景街道「伊勢街道」連絡協議会・・・伊勢街道に関する観光振興等
- ・全国街道交流会議・・・街道を生かした観光振興等
- ・鳥羽港クルーズ船誘致受入協議会・・・大型クルーズ船の鳥羽港寄港を通じた観光PR等
- ・山形県との連携・・・山形・三重の相互交流を目的としたWEB会議等

・明和町との連携・・・まちあるきを目的とした観光パンフレットの増刷

また、「2025年日本国際博覧会とともに、地域の未来社会を創造する首長連合」へ参加し、大阪・関西万博開催を契機とした、世界に向けた観光情報発信のための全国自治体間連携による、ワーキンググループへの参加等を行った。

さらに、三重県と（株）ポケモンとの包括連携協定による取組の一環として、みえ応援ポケモン「ミジュマル」のデザインのフォトスタンディを宇治浦田観光案内所に設置し、デジタルスタンプラリーを実施した。

3 伊勢志摩広域観光活性化事業

(1) (公社)伊勢志摩観光コンベンション機構への参画

伊勢志摩地域への誘客のため、(公社)伊勢志摩観光コンベンション機構に参画し、伊勢志摩地域の観光情報の発信事業、観光客及びコンベンションの誘致促進及び受入れ体制の整備に関する事業、フィルムコミッション事業等を展開した。

(2) 国内誘客プロモーション事業

中京圏・関西圏・首都圏在住で、消費が期待できる中高年を中心とした層に対し、“癒し”をコンセプトにした伊勢志摩地域の魅力を、特設サイト、近鉄電車の中吊り広告・駅貼りポスター、旅行雑誌広告、SNS等にて発信するとともに、公共交通機関を活用した旅行商品の造成・販売や、キャンペーン参加店舗での食事や買い物のレシートで応募できるプレゼントキャンペーンを実施した。

(3) 伊勢志摩学生団体誘致事業

伊勢志摩地域の行政、民間施設等の協働による学生団体旅行誘致活動として、ホームページを活用した情報の発信、旅行会社への訪問セールス、現地視察招聘等を実施した。

また、SDGsを取り入れた教育旅行の受入環境整備を促進するため、セミナーの開催やアドバイザーの派遣を実施した。

なお、三重県において実施された県内の学校を対象とした「南部地域体験教育旅行促進事業費補助金」制度により、伊勢志摩地域への学生団体の来訪者数は、3年連続でコロナ禍以前を超える実績となった。

(4) フィルムコミッション事業

伊勢志摩地域での撮影に関する問い合わせがあった制作会社に対して、ロケ候補地の提案、撮影許認可に関する補助等の支援を実施した。また、伊勢志摩地域のロケーションの魅力を分かりやすく伝えるための制作会社向けパンフレット作成のほか、全国ロケ地フェアでのPRやロケハンツアーを実施した。

(5) インバウンド推進事業

メインターゲットを欧米豪及びアジア圏とし、宿泊施設でのマーケティング調査や観光関連事業者を対象とするセミナー、ホームページ改修等情報発信ツールの強化、ファムトリップ、ランドオペレーターとの商談会、タイやフランスでの旅行博への出展、(一財)関西観光本部と連携した商品造成等を実施した。

(6) MICE誘致事業

SDGsの目標8「働きがいも経済成長も」に向けた取り組みを趣旨とする団体「GSN(グローバル・サステナビリティ・ネットワーク)」のドバイでの総会開催にあわせ、その前日の令和5年1月10日に行われたレセプションイベントに出席し、伊勢志摩地域のPRを行い、令和6年3月のGSN総会を誘致した。

4 外国人観光客誘致推進事業

ターゲットを他地域・団体との連携ではアジア、市単独事業では欧米というように地域を分け、令和7年度に開催予定である大阪・関西万博も見据えながら外国人観光客誘致に取り組んだ。

(1) 他地域・団体との連携事業

ア 協議会事業

東海地区外国人観光客誘致促進協議会、三重県外国人観光客誘致促進協議会、JNTO、(公社)日本観光振興協会等へ参画し、海外に向けた三重県や伊勢志摩地域のPR、観光パンフレットの海外発送等を行った。

イ (公社)伊勢市観光協会協働事業

日本人の人口減少に伴う未来の顧客確保のため、インバウンドの誘客促進を目的に、商談会への参加や、「なぜ日本人はみんな伊勢に行くのか」を外国人の方にわかりやすく訴求するため、「私のこころの中の伊勢」をテーマとした動画を作成し、(公社)伊勢市観光協会公式YouTubeによる発信等を実施した。

また、外国語(英語・繁体字)版の観光パンフレットを改訂・増刷した。

ウ 神秘の紀伊半島を一周するFIT誘客事業

大阪・関西万博開催を契機と捉え、欧米豪及びアジアを中心とした訪日外国人に対して紀伊半島の魅力を発信し、認知度向上や来訪意欲を促進することを目的に、三重県や和歌山県、公共交通事業者等と協働し、モニターツアーの実施、動画の制作・発信、インフルエンサーの招請、ポータルサイトの制作等を行った。

(2) 市単独事業

ア 外国人短期留学生招聘及び情報発信事業

令和5年2月20日～3月10日の約3週間、皇學館大学と協働で、日本・伊勢の歴史文化に興味を持つ海外の学生等を対象に、皇學館大学の留学生として伊勢の地で伊勢について学び、滞在中にSNSで母国へ伊勢の情報発信を行うプログラムを実施した。国内から10人、海外から3人、計13人を受け入れた。

委託先：(学)皇學館 皇學館大学

委託金額：6,171,290円

委託期間：令和4年9月22日～令和5年3月31日

イ 伊勢市アーティスト・イン・レジデンス情報発信事業

英国における伊勢の認知度向上を図り、将来的なインバウンドの観光誘客につなげるため、令和元年の「英国アーティスト・イン・レジデンス伊勢」事業に参加した6組7名の英国アーティストのうち、3組4名を伊勢に受け入れて事業を実施した。3組がそれぞれ

滞在した中で、伊勢音頭を始めとした伊勢の伝統文化や豊かな自然、式年遷宮に関するインタビューなど、あらゆる体験を通して、映像作品やインスタレーションなどの作品を制作し、英国を中心に情報発信を行った。

委託先：ブリティッシュ・カウンシル

委託金額：5,000,000円

委託期間：令和4年9月29日～令和5年3月31日

ウ 「The Study of ISE」ブランディング戦略事業

欧米豪を中心に世界的に増加傾向にある「精神的な豊かさを求める人々」（SBNR層：Spiritual But Not Religious）に対し、日本文化の根源でもある自然思想を軸に、伊勢文化の本質を伝え、認知度向上を図ることを目的に、SBNR層の外国人クリエイター目線で撮影した、好奇心を刺激する伊勢市の画像（自然・祭り・神事・風習など）等を活用したデジタルガイドブックを作成した。また、これら为新設するスマホファースト設計のランディングページ内で展開し、オンラインにより伊勢の文化等を発信した。

委託先：（株）XPJP

委託金額：5,000,000円

委託期間：令和4年4月13日～令和5年3月27日

5 旅客誘致推進事業

(1) 伊勢市の観光PRキャラクターを活用した誘客推進活動

伊勢市の観光PRキャラクターである「はなてらすちゃん」のイラストやロゴを様々な印刷物や商品等に利用できるよう、使用申請の許可を行うとともに、市や民間団体等が主催するイベント等への着ぐるみの貸し出しを行った。

イラスト・ロゴ使用許可件数：34件

着ぐるみ貸出許可件数：19件

(2) 誘客宣伝にかかる広告作成及び掲載事業

観光客の誘致を目的として、誘客に効果的な新聞等の広告媒体を活用し、伊勢の観光情報の発信を行った。

<掲載実績>

	媒体名	発行部数	掲載日	地域
1	奈良新聞	99,250	4. 7. 21	奈良
2	信濃毎日新聞	422,453	4. 7. 21	長野
3	旬刊旅行新聞	32,000	4. 9. 1	全国
4	伊勢新聞	100,450	4. 11. 6	三重、東京
5	信濃毎日新聞（年賀名刺広告）	423,070	5. 1. 1	長野
6	信濃毎日新聞（年始朝刊広告）	423,070	5. 1. 1	長野
7	わお！マップ	60,000	5. 1. 10	全国
8	中日新聞	1,927,216	5. 2. 20	東海ほか
9	旬刊旅行新聞	32,000	5. 3. 10	全国

○ 新型コロナウイルス感染症経済対策事業

1 旅行消費拡大事業

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、観光産業が完全回復に至っていない中、伊勢志摩地域が旅行先として選ばれ、日帰り観光を宿泊につなげ、地域内の周遊促進・消費拡大させる事を目的に、伊勢志摩地域の宿泊施設に宿泊した方を対象に「伊勢志摩ジャンボ！！キャンペーン」を実施し、地域限定の買物クーポンが当たるスクラッチカードを配布した。また、ダブルチャンスとして、伊勢志摩の豪華賞品が当たるキャンペーンも併せて実施した。さらに、キャンペーン終了後、宿泊情報誌「ゆこゆこ」（令和5年2月20日発行）に広告記事を掲載した。

キャンペーン実施期間：令和4年9月1日～令和4年11月13日

スクラッチカード配布枚数：609,250枚

発行クーポン枚数（使用数）：66,653枚（65,334枚）

2 伊勢の魅力・文化発信事業

(1) 伊勢の魅力再発見・発信事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的とした観光エリアの分散化のため、伊勢市の知られざる魅力を再発見すべく、日本文化や魅力を発信する情報誌「Discover Japan」のInstagram公式アカウントにて、共通ハッシュタグをつけた伊勢の絶景写真を投稿するフォトコンテスト「DJ絶景プロジェクト伊勢」を開催した。応募総数264作品のうち、6作品を優秀作品として選定し、「Discover Japan」（令和4年12月6日発行）の誌面、ウェブサイト、公式Instagramに加え、伊勢市内と東京国際空港で展開する一部のデジタルサイネージにて公開した。

委託先：（株）INFORICH

委託金額：3,190,000円

委託期間：令和4年4月27日～令和5年1月4日

(2) 『Google Arts & Culture』を活用した情報発信事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、旅行需要が戻らず、伊勢の観光文化情報が広く認知されない状況下で、旅行需要促進と認知度向上を図るため、世界各地の美術館が所蔵する作品や文化遺産が鑑賞できるプラットフォームサイト「Google Arts & Culture」を活用し、「伊勢うどん・御頭神事・伝統工芸（伊勢和紙等）」など、伊勢の文化・芸術等をテーマとした7つのストーリーを画像や動画を用いて作成した。

委託先：（株）XPJP

委託金額：6,600,000円

委託期間：令和4年4月13日～令和5年3月27日